

作・画 佐藤晴美 & かづさひろし



# MANGA CVN 73

USS George Washington



## 発刊にあたって

在日米海軍司令官  
ジェームズ D. ケリー少将



私の海軍軍人としてのキャリアを通して、この美しい国日本に約8年間も住むことができたことは、非常に光栄なことで、私は毎日の生活を謳歌しています。日本での生活には沢山の思い出があり、日本は私の心に永遠に刻みこまれることでしょう。中でも特筆すべき思い出の一つが、原子力空母ジョージ・ワシントンが日本の横須賀に配備されることです。

世界が不安定で動揺している中、ジョージ・ワシントンが、アメリカの最も偉大な同盟国であり、世界第二位の経済大国である日本に前方展開されることは、素晴らしい日米の協力関係、同盟を世界中に示すものなのです。いくつかの最新の軍事力を擁する空母ジョージ・ワシントンは、日本の防衛、極東地域の平和安定を維持する責務を担うことになるのです。同艦の熟練した乗組員達は米国の親善大使であり、皆様の未来の隣人、そして多くの市民の皆様にとって良き友人となることでしょう。

どうぞ空母ジョージ・ワシントンが日本に到着するまでの物語をお楽しみください。

作・画 佐藤晴美 & かつさひろし  
発行 在日米海軍司令部



# MANGA CVN 73

USS George Washington

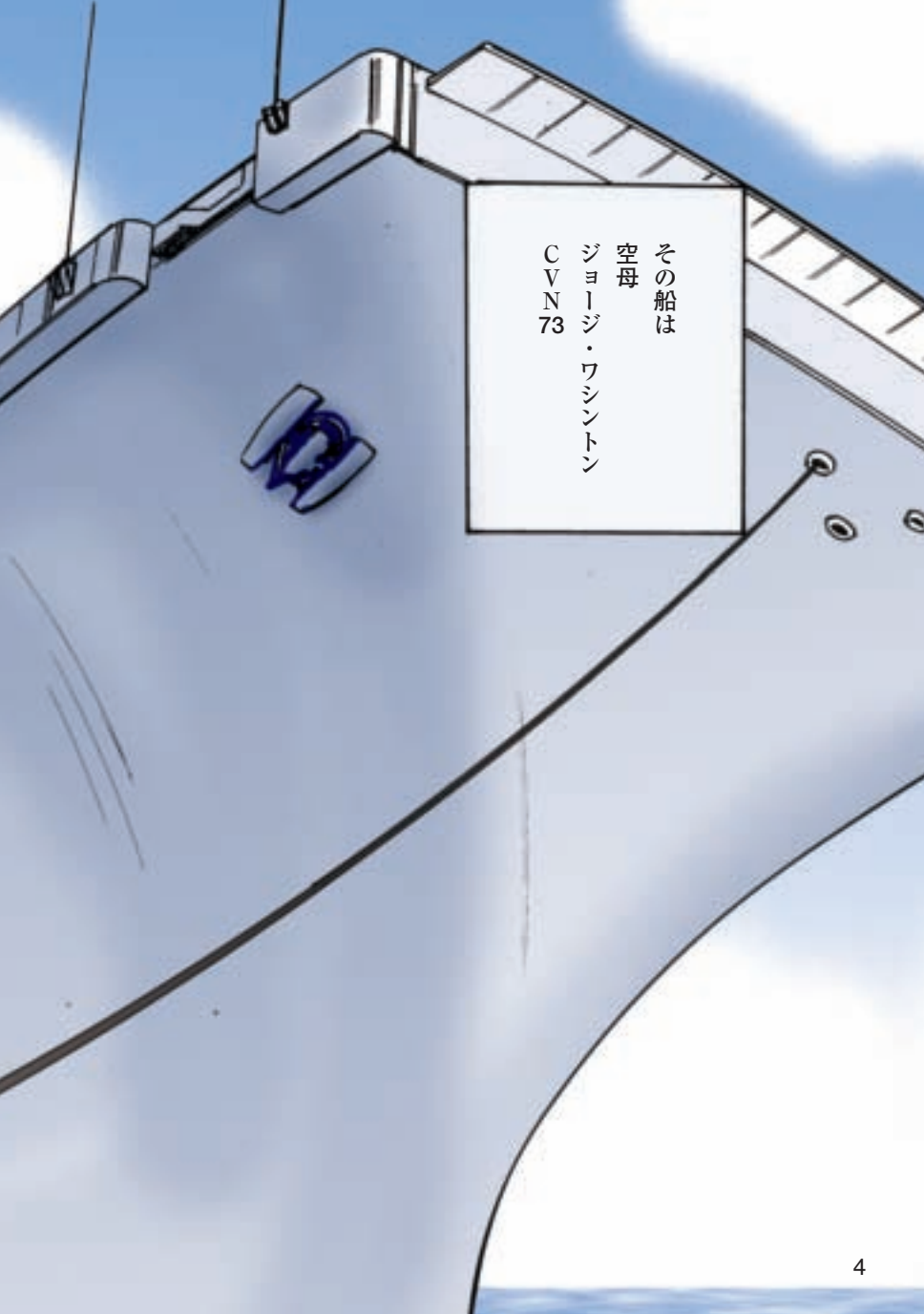


その  
あまりの大きさに  
圧倒された

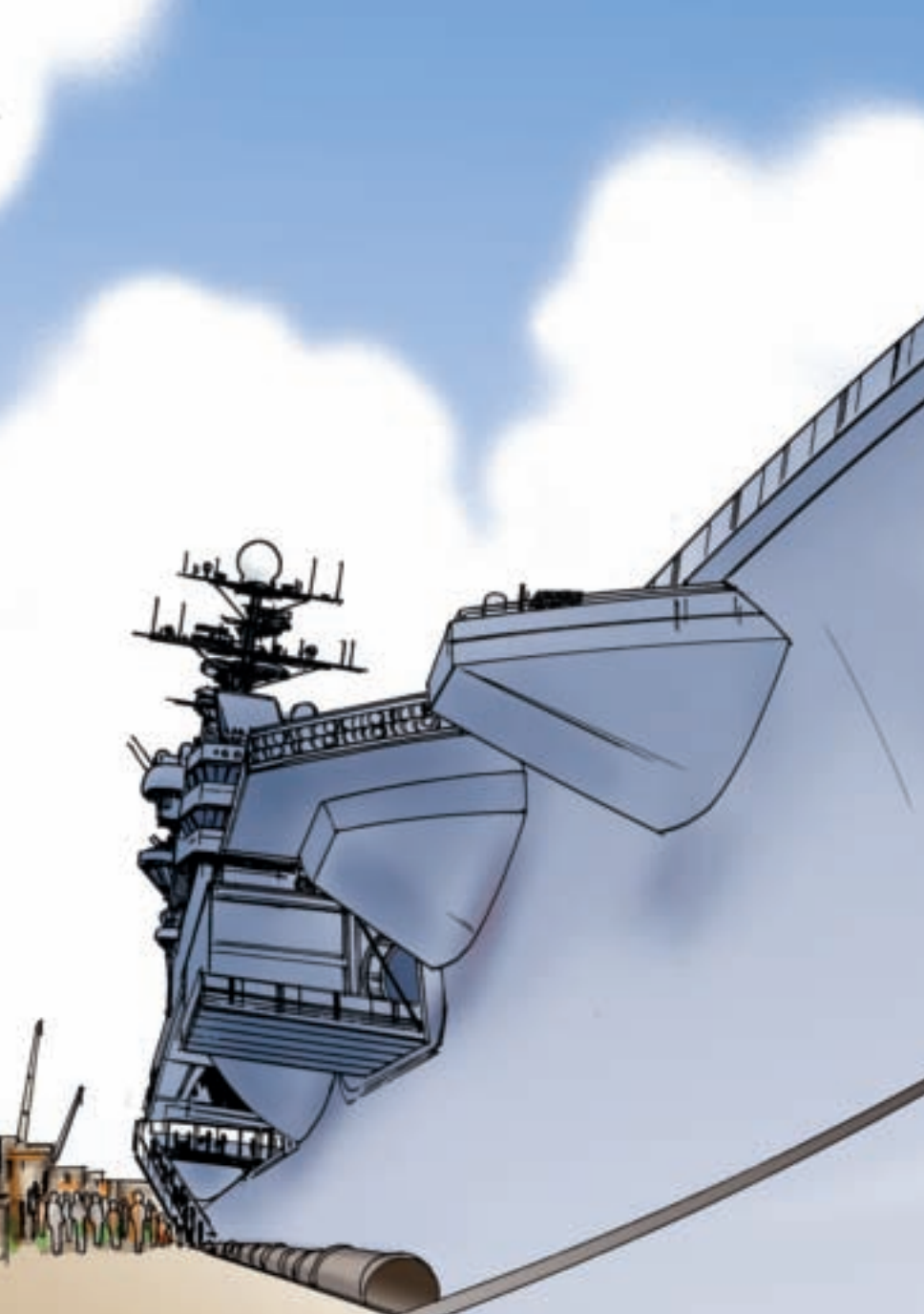








その船は  
空母  
ジョージ・ワシントン  
CVN  
73



全長  
332・85 m

ニミッツ級原子力空母  
6番艦として建造され  
1992年7月4日に  
就役した

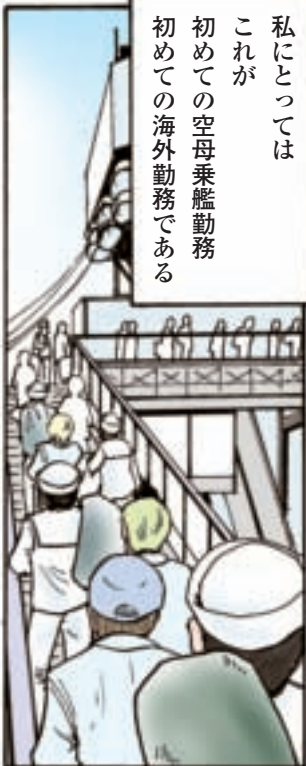
5000名以上の  
兵を乗せ  
30ノット以上の  
高速で移動することが  
できる

...

これは  
船というより  
高層ビルだよ



私にとっては  
これが  
初めての空母乗艦勤務  
初めての海外勤務である



何もかもが初めて  
もちろん  
見知った人もいない



ジャック・オハラ  
三等兵曹

え？

















狭く急な階段は  
これからの艦内生活を  
不安にさせるには  
十分だ



また階段だ  
この人  
わざとじゃ  
ないよな



「バケツ旅団」で  
いっぱいねえ  
こっちから  
行きましょう



ここは  
まだ  
通ってない  
所だよな

？  
さっき  
3度  
降りただけ  
だから――





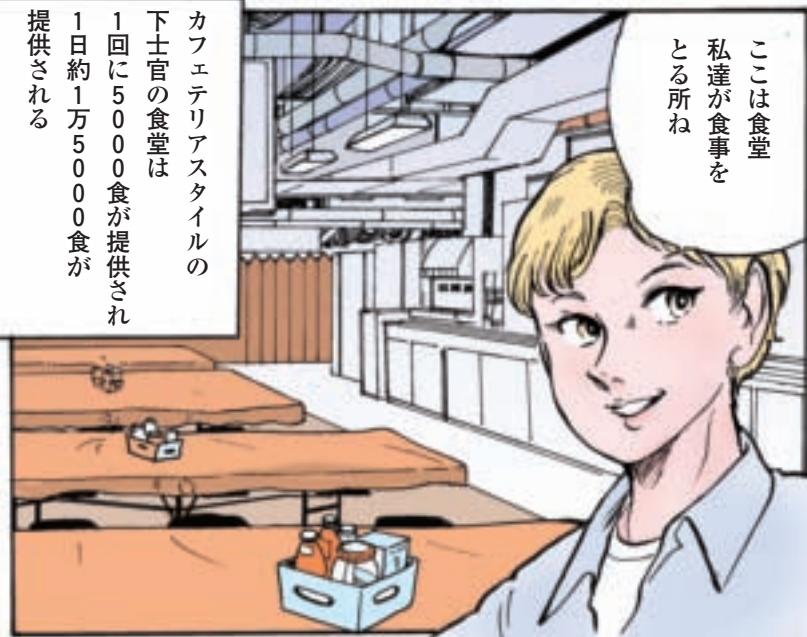
医科では  
ケガや病気に対する  
迅速で的確な処置が  
求められる

そこには歯科もあり  
それは軍艦の  
自己完結能力を  
評価する  
ポイントである



ここは食堂  
私達が食事をとる所ね

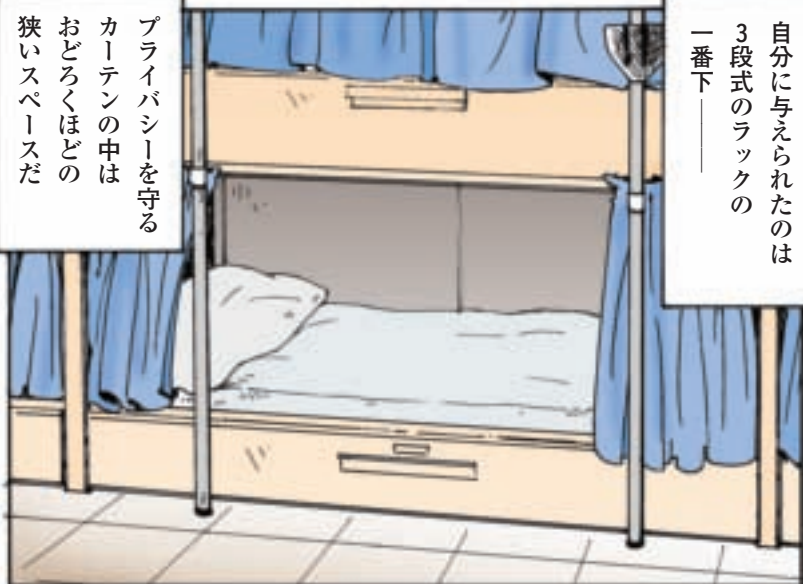
カフェテリアスタイルの  
下士官の食堂は  
1日に5000食が提供され  
1日約1万5000食が  
提供される







そしてほくは  
唯一の  
個人スペースに  
たどり着いた



自分に与えられたのは  
3段式のラックの  
一番下――

プライバシーを守る  
カーテンの中は  
おどろくほどの  
狭いスペースだ



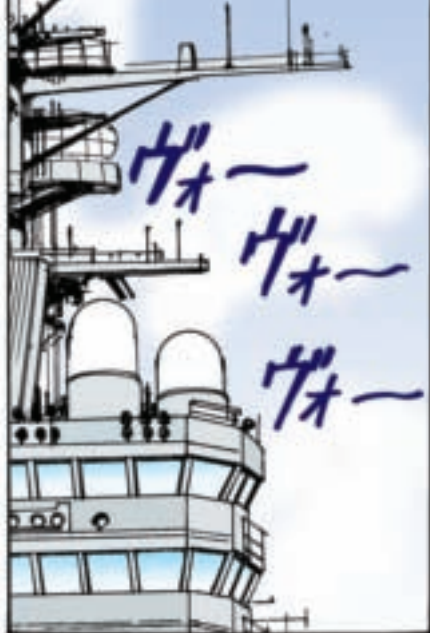
荷物は  
ラックの下に  
保管スペースが  
あるぞ  
それと  
ロッカーだな

！









GWは前方展開部隊として  
日本に配備される



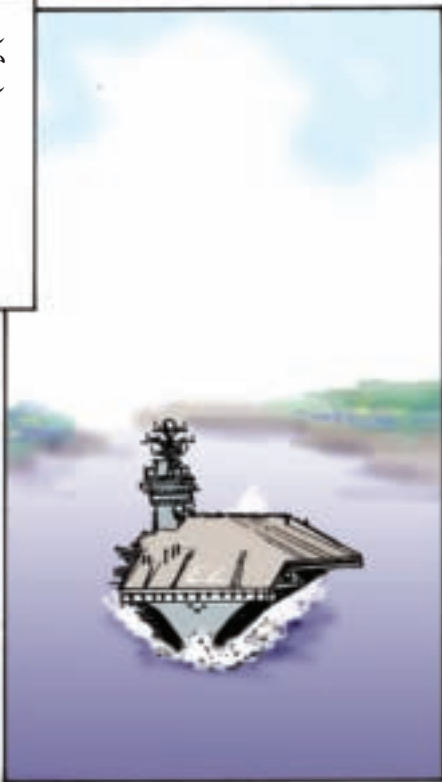
GWの心臓は  
約50年の寿命を持ち  
燃料給油を必要とせず  
安定したエネルギーを  
効率よく供給する



艦の寿命を考えると  
ほぼ無限に航行できる  
ことになる



しかし  
それを動かすのは  
兵員——人間である



彼らのチームワークの調和  
およびアメリカ水兵の  
不屈の精神が  
すべての事柄の遂行を  
可能にしている

通常

洋上での勤務は  
6ヵ月から8ヵ月に  
およぶ――

空母の派遣で

負担を強いられるのは

乗員とその家族と言えよう

そのため

前方展開部隊として

横須賀に配備されるに

あたって

横須賀基地に乗員の家族が  
居住することになる



航空母艦は  
日常的に世界に前方展開し  
米国の他の軍隊や  
同盟国と合同演習を行う

航海中には国際水域で行動し  
同盟国にその存在を示し  
安心感を与え  
潜在的な敵国に対し  
警告を発する



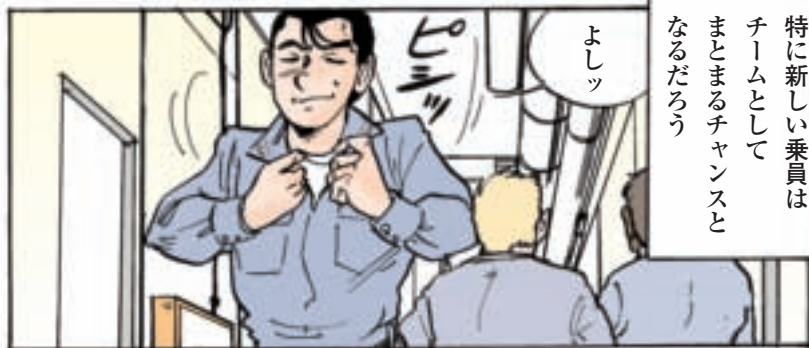
今回の航海も  
ただ移動するだけの  
航海ではない

各自が  
自己の職務を理解し  
腕を磨く



特に新しい乗員は  
チームとして  
まとまるチャンスと  
なるだろう

よしッ



よう  
新入り









こうして  
私の  
誇り高き  
空母での  
生活は  
始まった



おい  
新入りは  
どうした!!



全員  
そろったか







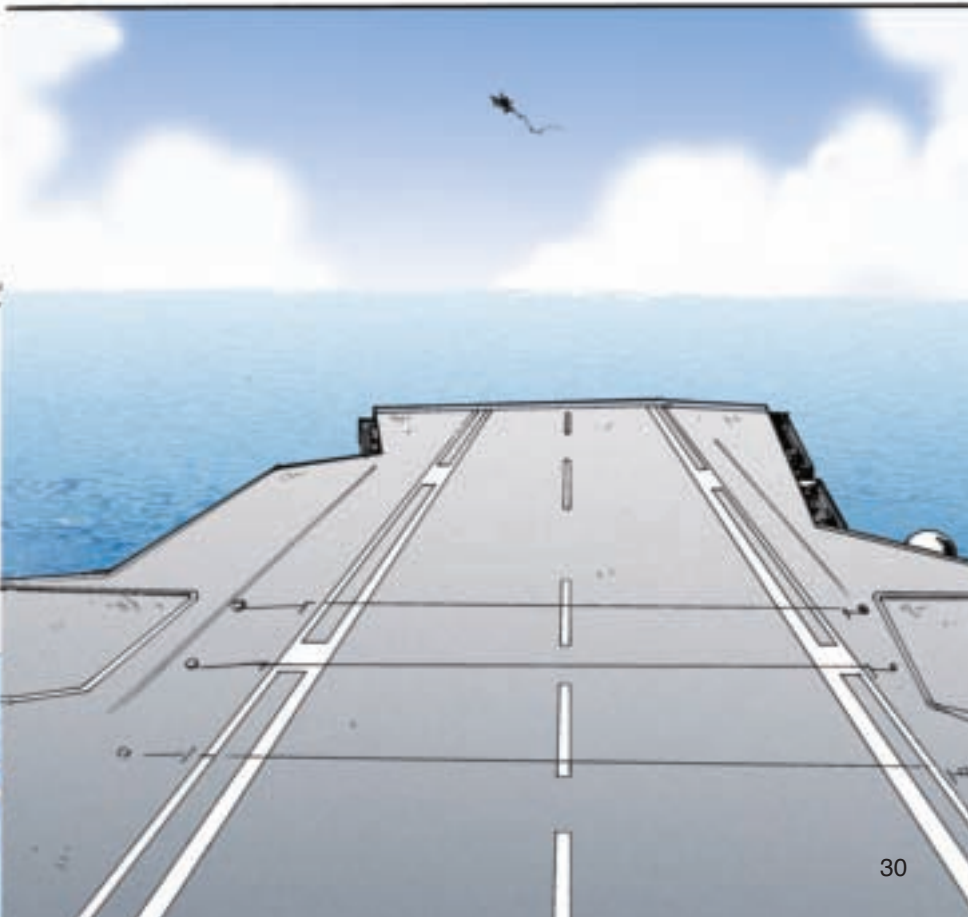


Fod Walk Down  
フォッドウォークダウン  
簡単に言えば  
フライトデッキの  
ゴミ拾いだ

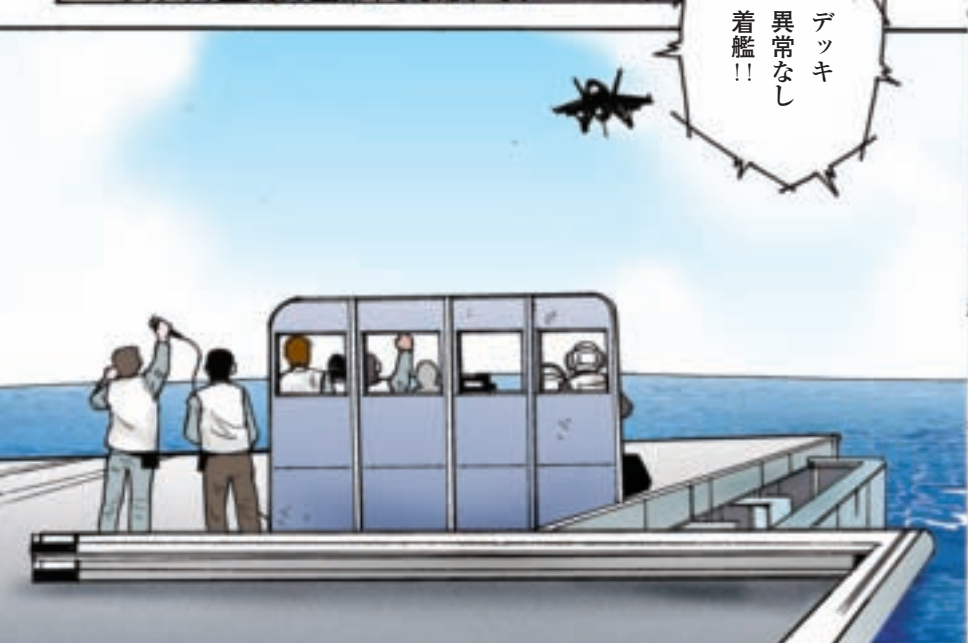
数十人か  
百人くらいが  
並んで  
落ちているものを  
拾っていく

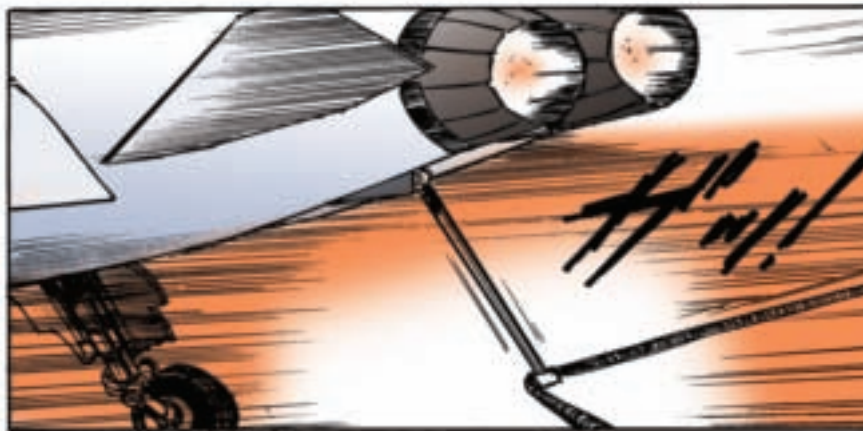


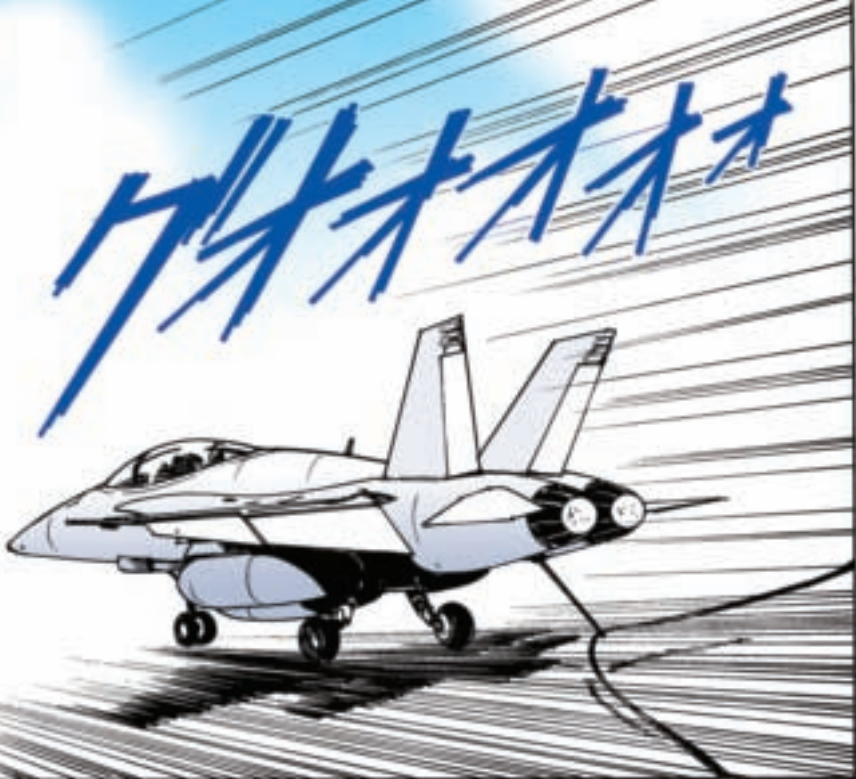
どんな小さな  
ものでも  
ジェット機の  
エンジンが  
吸い込めば  
大変なことに  
なる







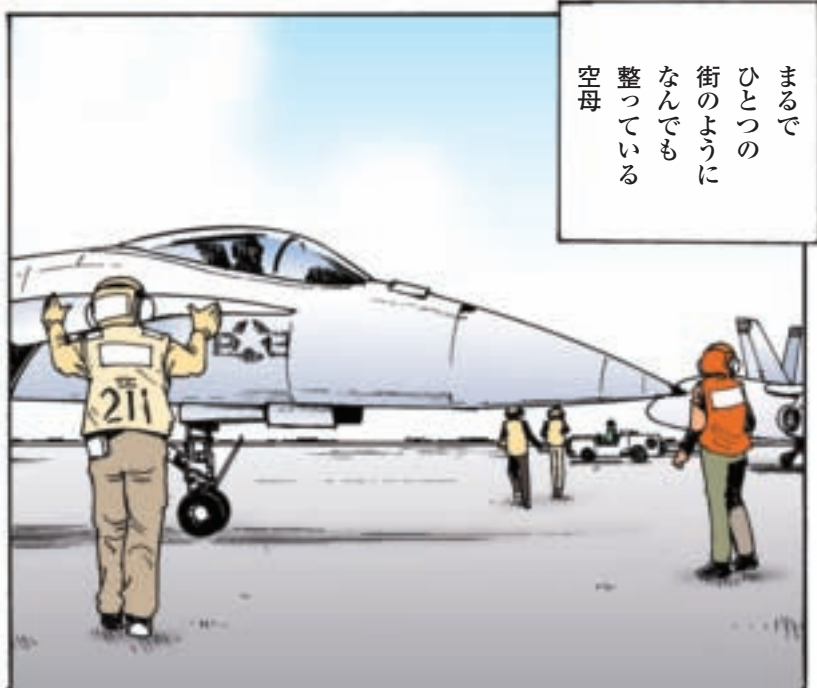




はは  
たしかに  
ぶつかったんだよ

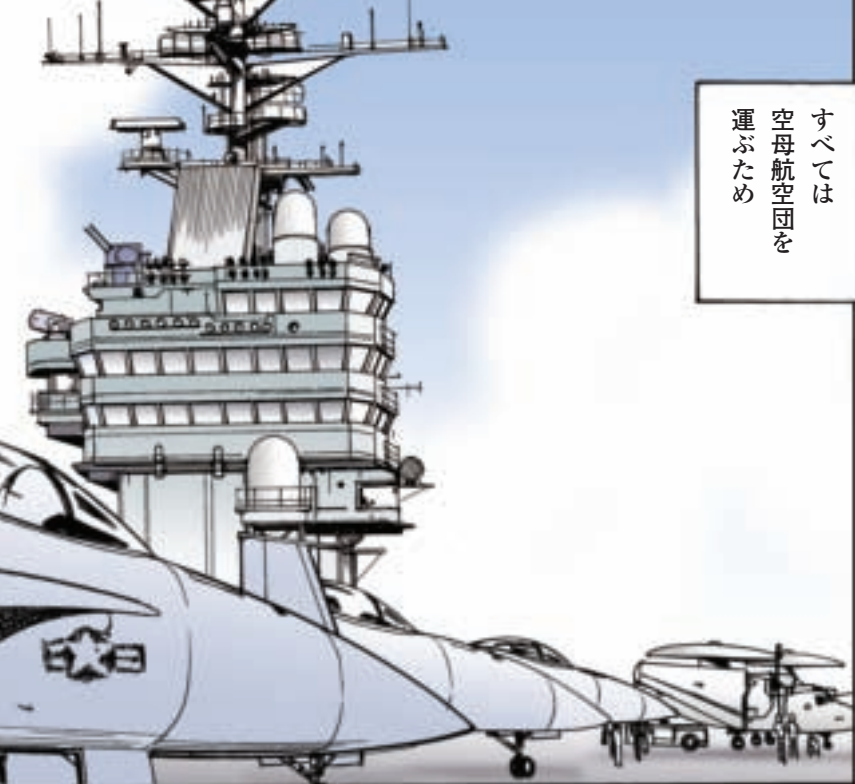
何だ  
この音は！  
ジェット機が  
ぶつかったの  
？







すべては  
空母航空団を  
運ぶため



空母は  
航空団と  
共にあってこそ  
その  
存在価値はある

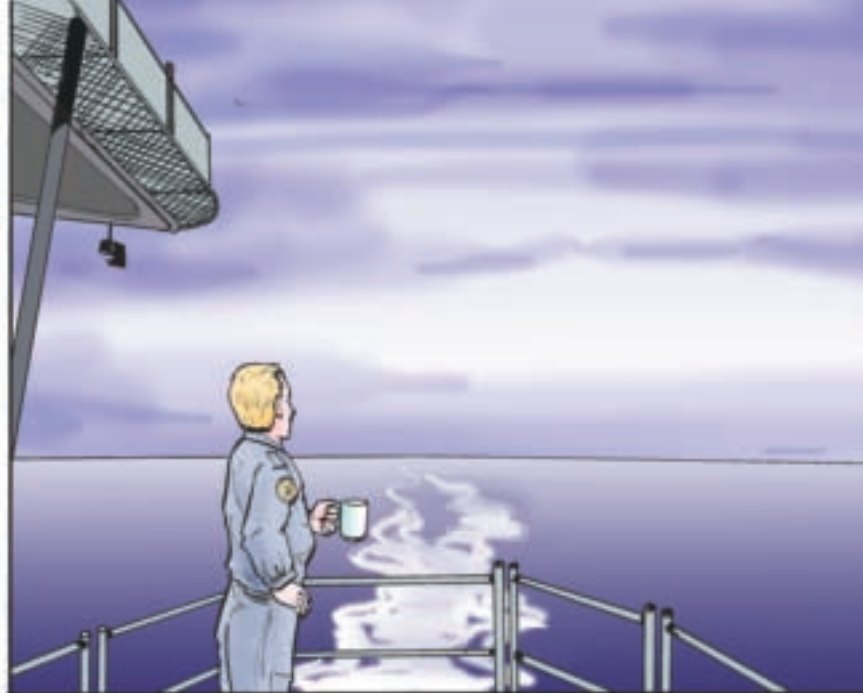


下士官食堂



どうした  
食わんのか  
うまいぞ  
この  
ロブスター





朝は  
暗闇から  
始まる

といっても  
夜間シフト  
というわけ  
ではない







乗組員は  
昼と夜の  
シフトに  
分かれて  
いるので……

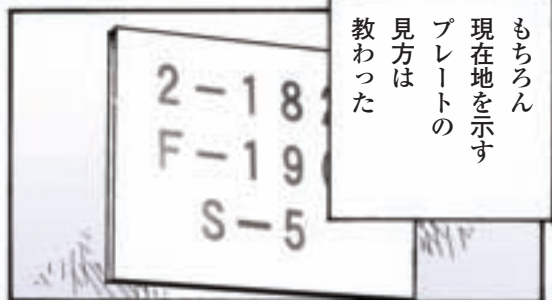


コンパートメントは  
いつもだれかが  
寝ている  
よって照明は  
落としたままだ



シャワーを浴びて  
朝食を食べて  
部署につく  
のだが……

新参者にとって  
いぜん 艦内は迷路のまま



ダメージコントロール  
センター

おそいぞ  
オハラ



いそげ  
また  
チーフに  
どやされるぞ

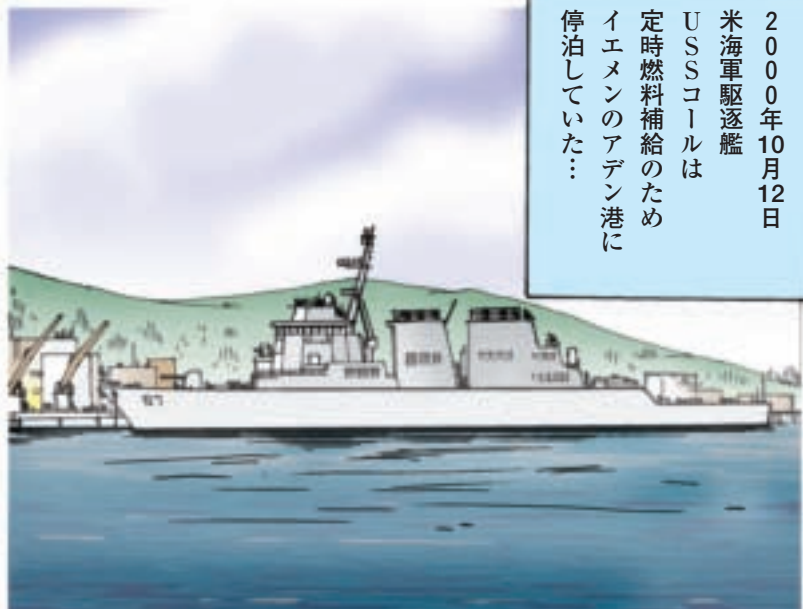
は…  
はい



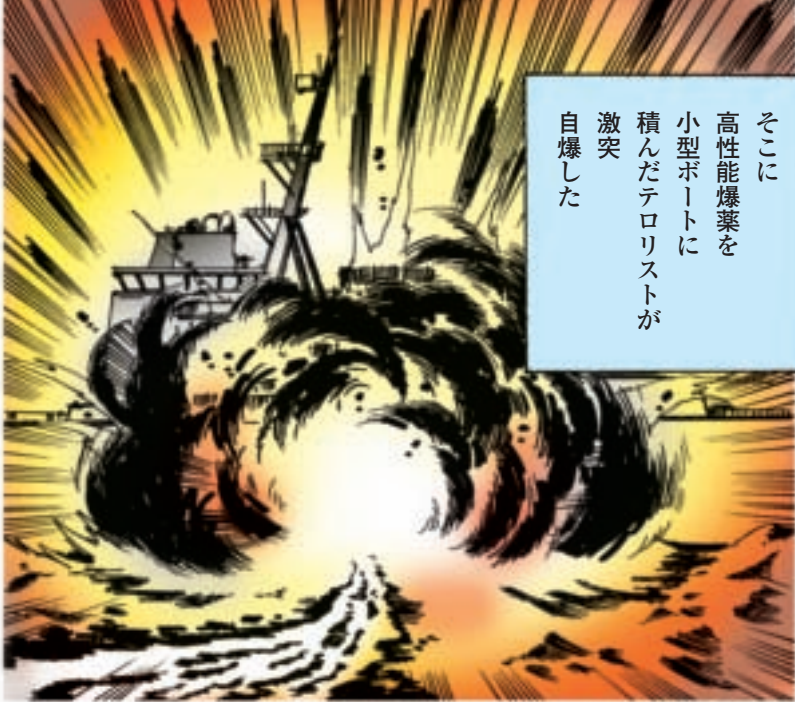
ダメージ  
コントロールとは  
事故や戦闘時に  
艦が損傷を  
受けたとき

ただちに  
消火・防水・  
乗組員救護など  
損傷を最小限に  
おさえる  
システムである


2000年10月12日  
米海軍駆逐艦  
USS コールは  
定時燃料補給のため  
イエメンのアデン港に  
停泊していた：







そこに  
高性能爆薬を  
小型ボートに  
積んだテロリストが  
激突  
自爆した

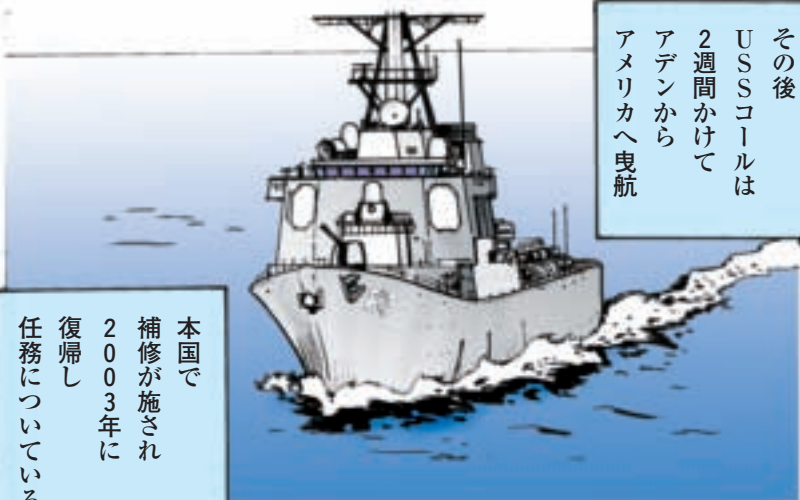


その自爆テロによって  
17人の水兵が死亡  
39名が爆風で  
負傷

USS コールは  
左舷側面に  
12メートル四方の  
大穴が開き  
艦が大きく  
損傷した



しかし勇敢な乗員たちは  
ダメージコントロールの  
努力により  
機関部までの浸水は  
食い止めた



その後  
USS コールは  
2週間かけて  
アデンから  
アメリカへ曳航

本国で  
補修が施され  
2003年に  
復帰し  
任務についている



——というくらい  
艦にとっては  
大切な部署  
である



急げ  
消火器を  
全部出せ



消火訓練は  
きわめて重要  
である  
もし火事が発生  
したら  
全員で消火に  
あたらない  
ければ  
ならない



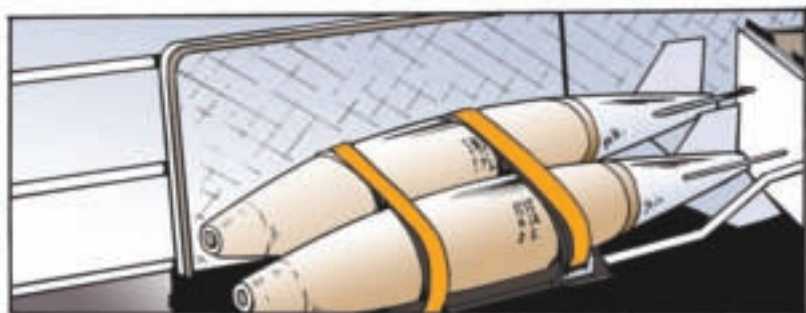
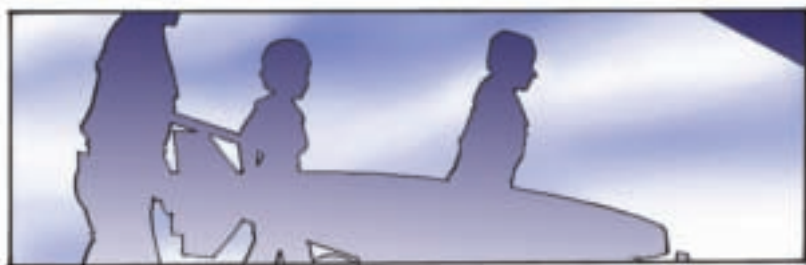
早くしろ  
動け!!  
動け!!

貯蔵庫に  
火がつけば  
大変なことに  
なるぞ!!









格納庫が  
あわただしくなり  
フライトデッキに  
緊張感が走る

航空団の  
フライト  
オペレーションが  
始まる

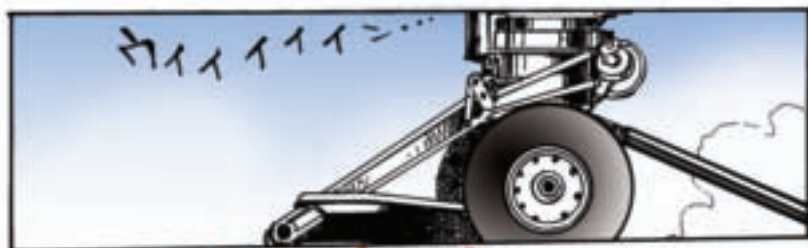
甲板員配置、  
甲板員配置  
全員所定の  
装備品を  
装着せよ







発艦は  
重装備の  
戦闘機を  
カタパルトで  
時速220km  
まで加速する







フライト  
オペレーションは  
発艦着艦の  
訓練だけでなく



攻撃  
防衛システムの  
訓練も  
する



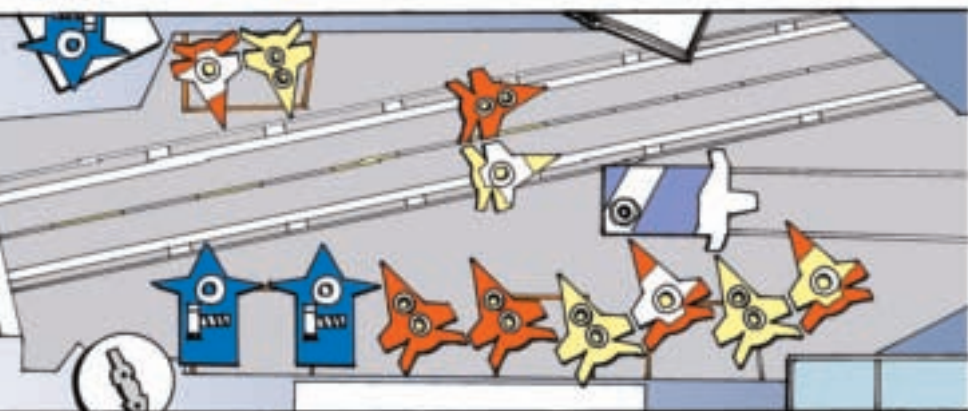
最新の  
防衛システムが  
整った  
戦闘指揮所








コンピュータとは  
無縁の  
フライト  
オペレーション室




ここでは  
ミニチュアの  
フライトデッキの  
上にある  
ボルトやナットで  
すべての飛行機  
の情報を把握する



着艦は  
発艦よりも  
緊張が走る

洋上に  
浮かぶ  
針のような  
空母



その  
アングルドデッキに  
ある4本の  
アスレティング  
ワイヤーに



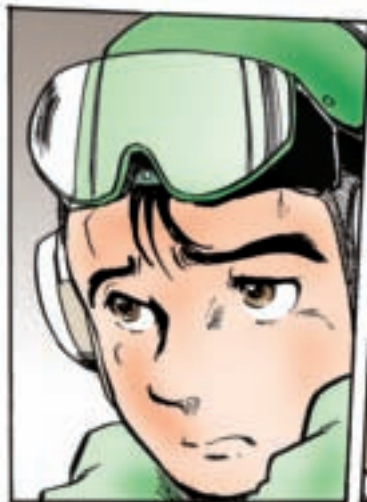
機体後部の  
フックを  
引っかける



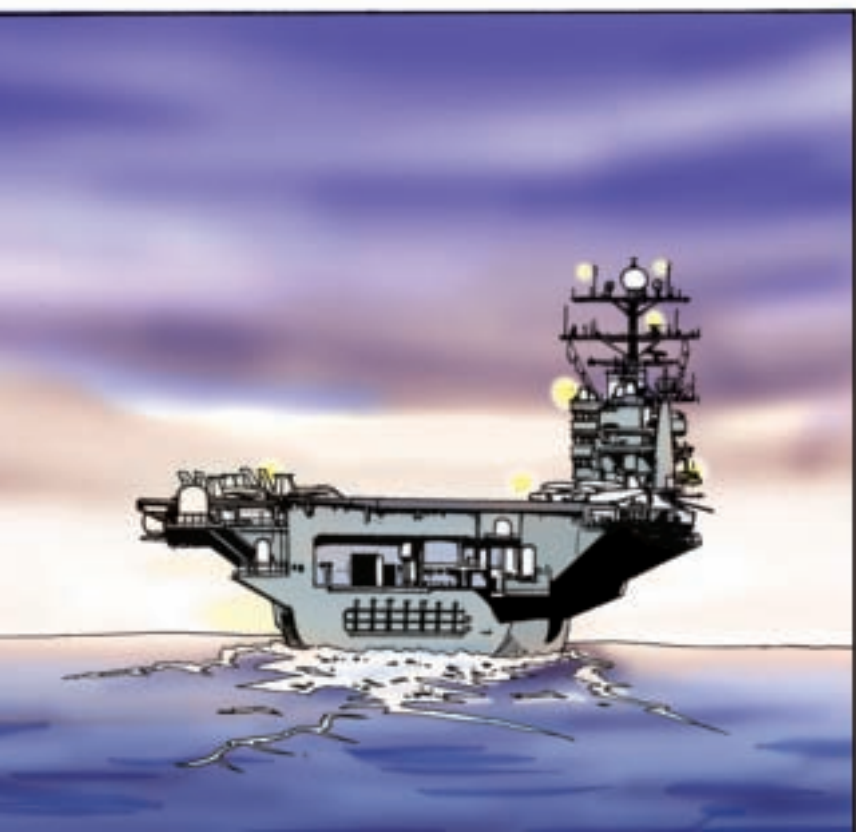
失敗したときの  
ために  
エンジンは  
フルスロットル

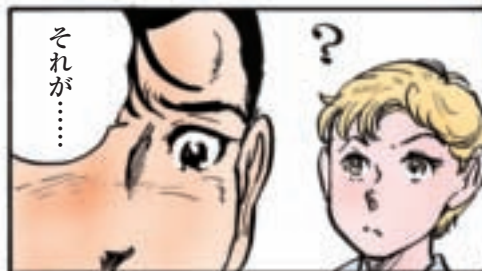
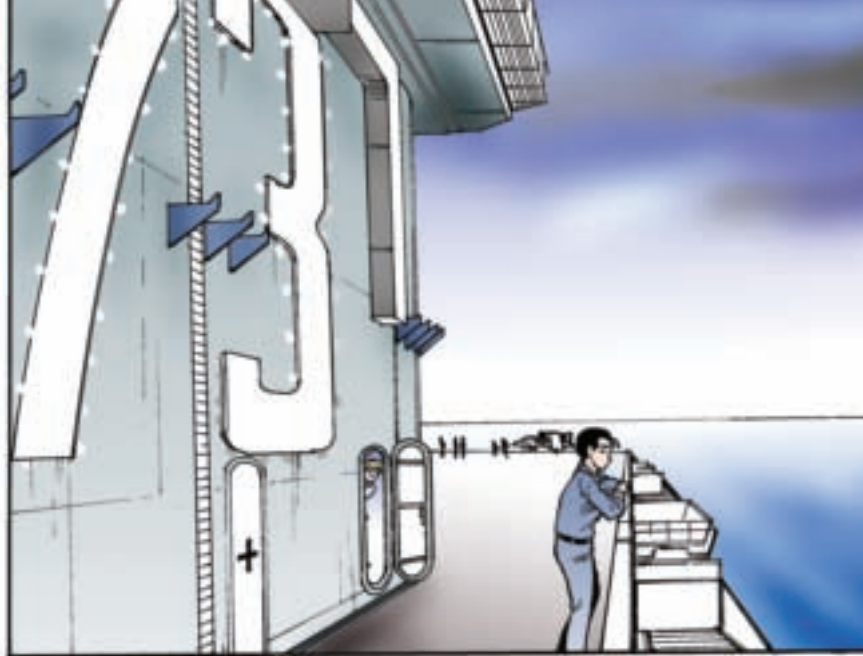


もしも  
フックできない  
場合は  
タッチアンドゴー  
をくり返す























1つは  
胸に輝く  
ピンバッジ  
あこがれ  
なのよ



艦内の  
いろんな  
科を経験  
しなくては  
いけないわ

そして  
試験に  
受かったら  
もらえるの



2つ目は  
なんですか  
？



日本に  
着くまでには  
取る  
つもりよ



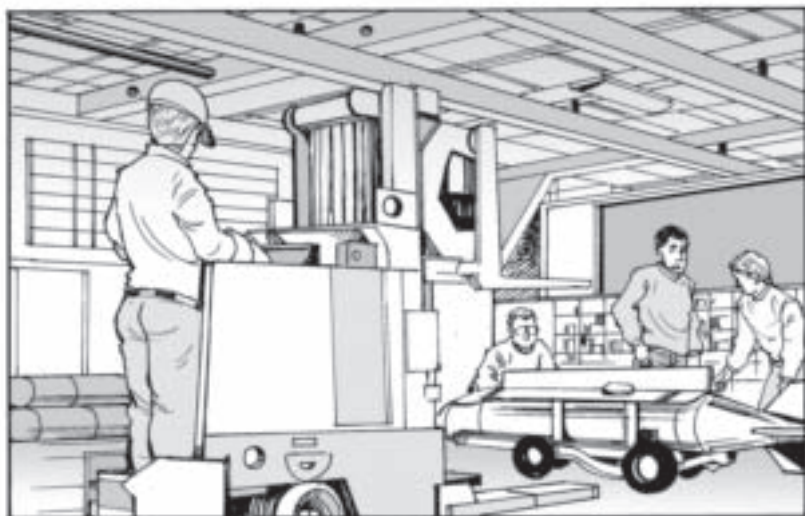
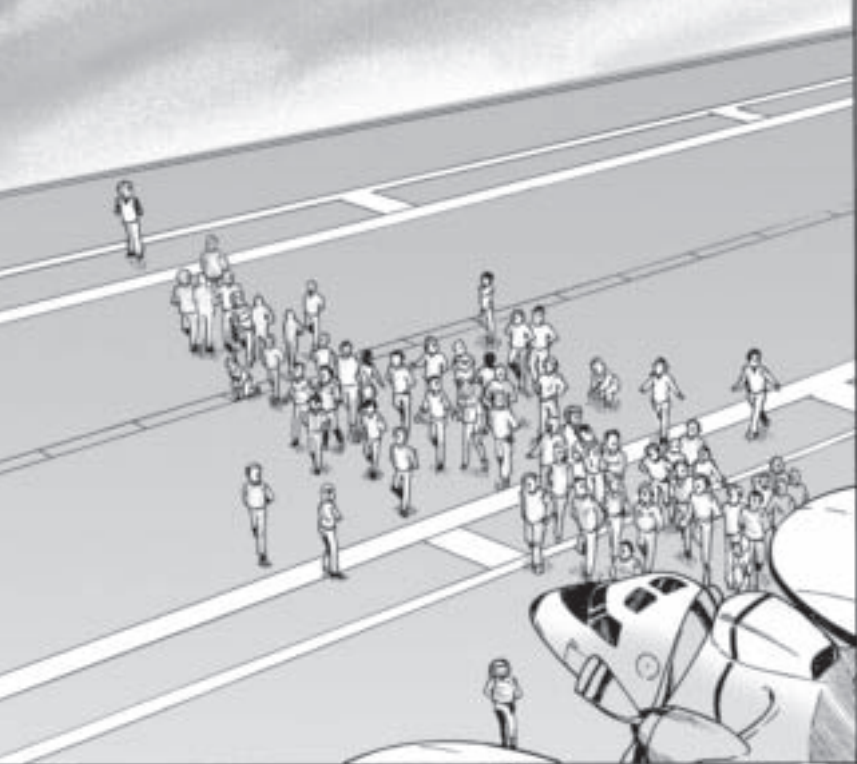
ね 富士山

FUJI ?





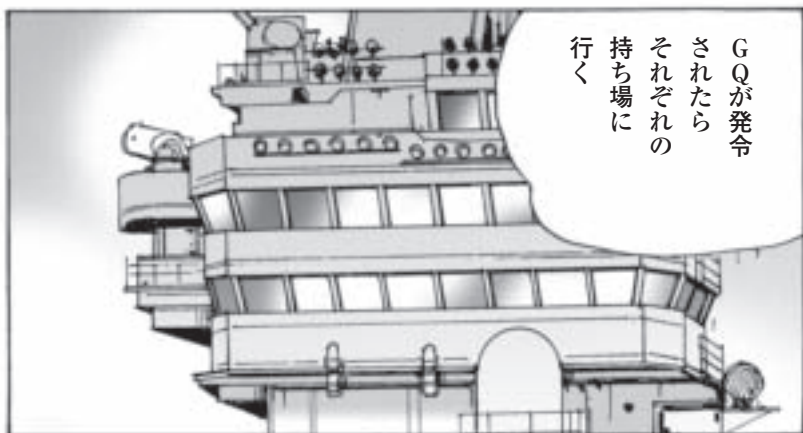














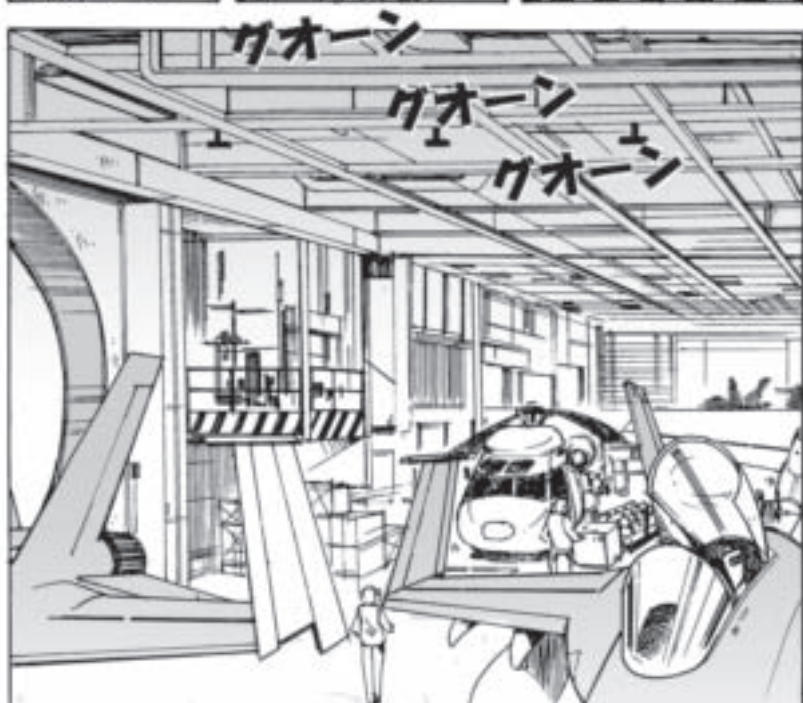
ジョージ  
ワシントン  
艦長だ!!

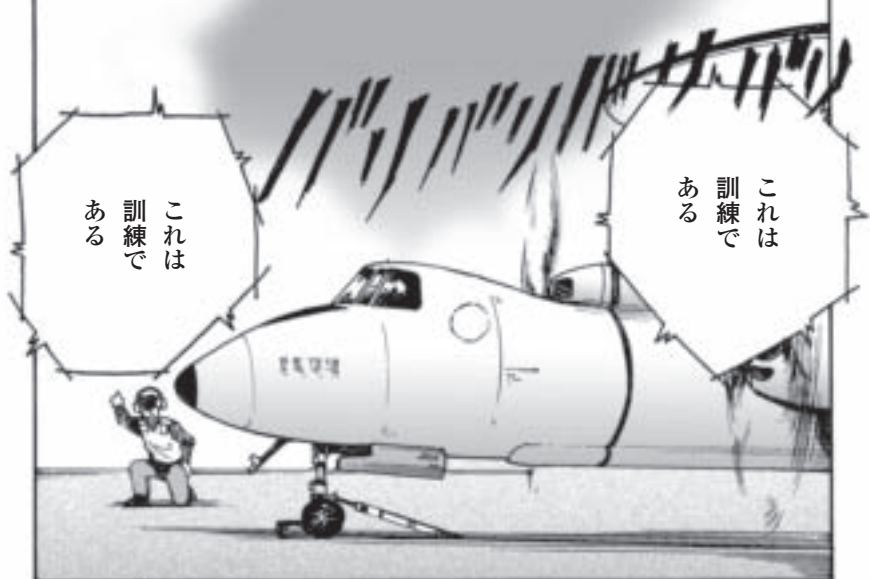
ただいま  
国籍不明の  
戦闘機が  
GWに  
接近中!!

ミサイル  
攻撃の  
可能性が  
ある!!

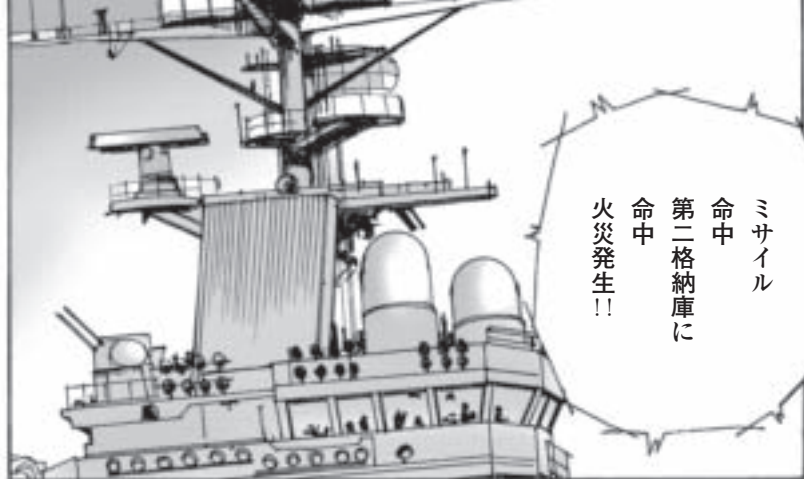


















その後  
GQが  
終わるまで



ぼくは  
立派に  
死体役を  
務めた

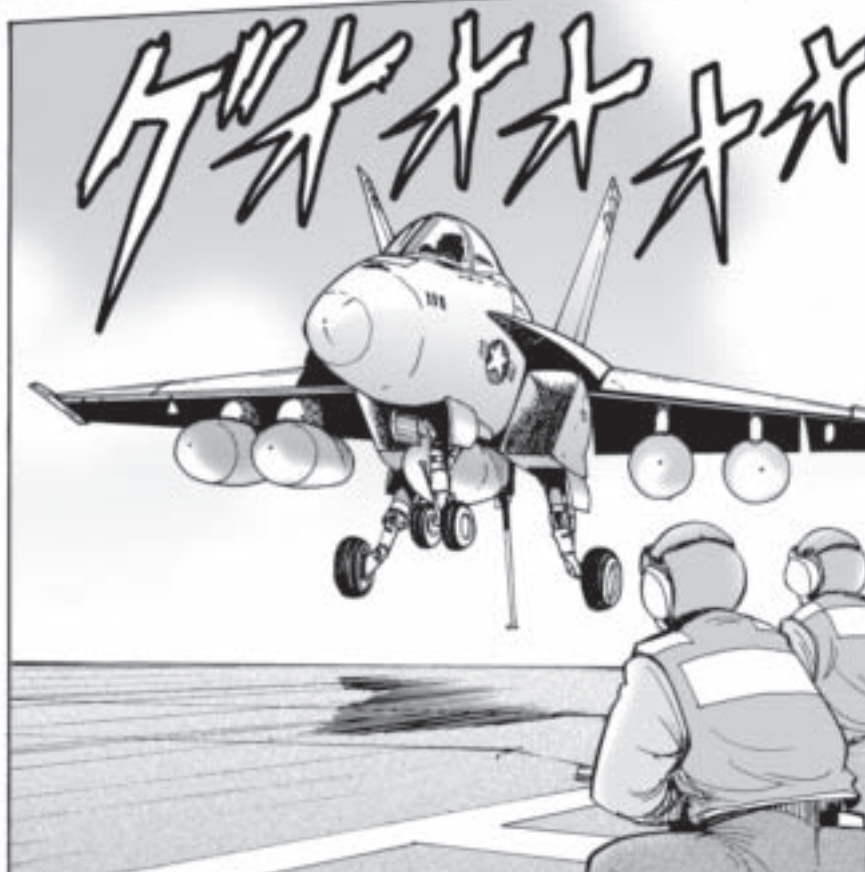


重たいな  
おまえ

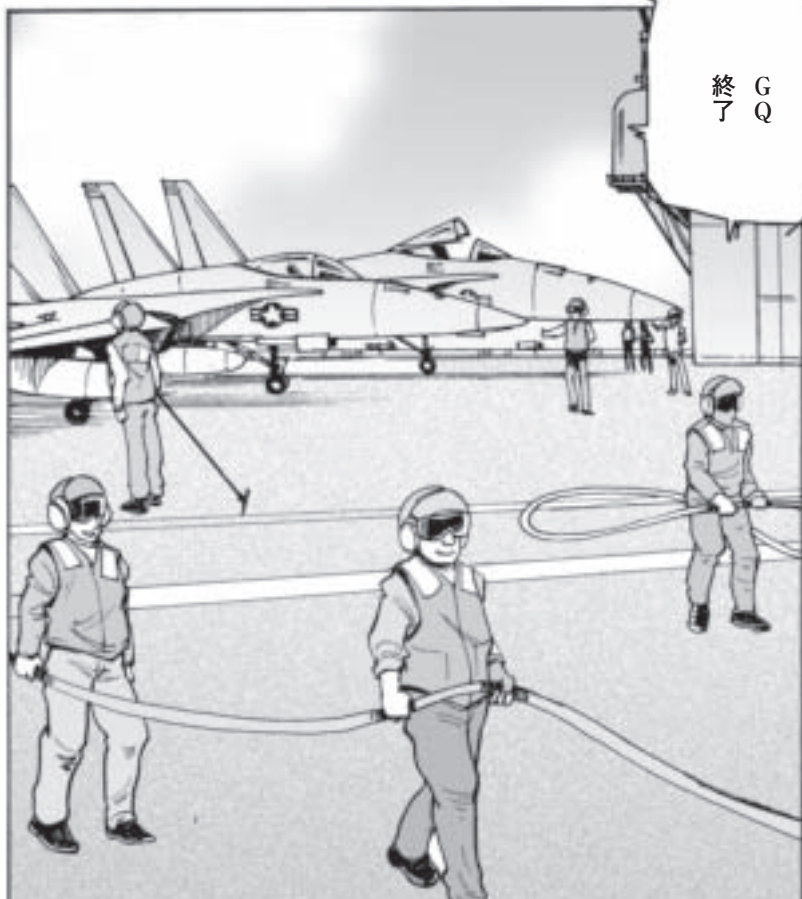
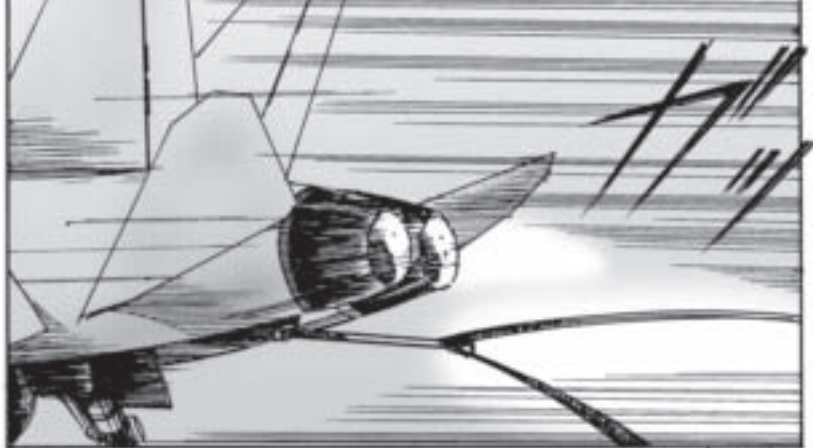
代わり  
ましよう  
か？

こら  
死体が  
しゃべるな









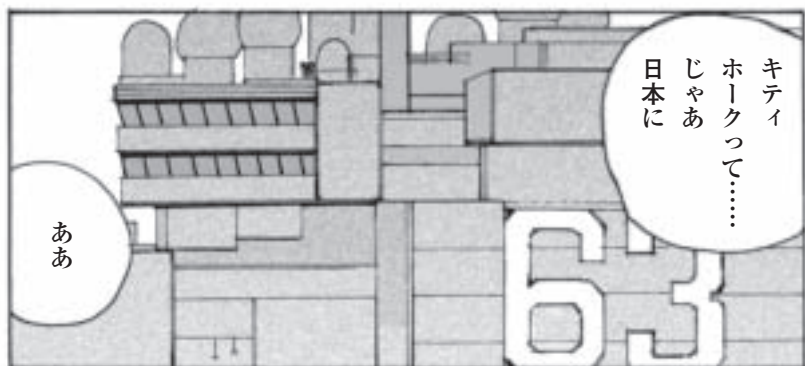
終了 G  
Q











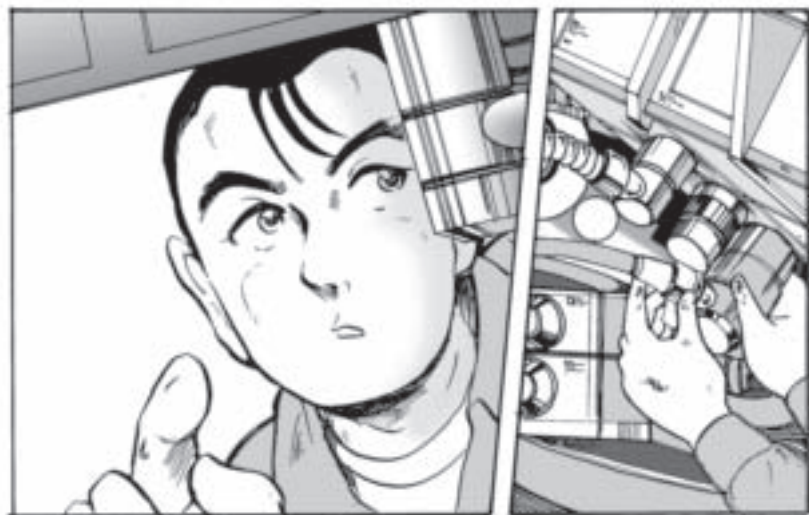
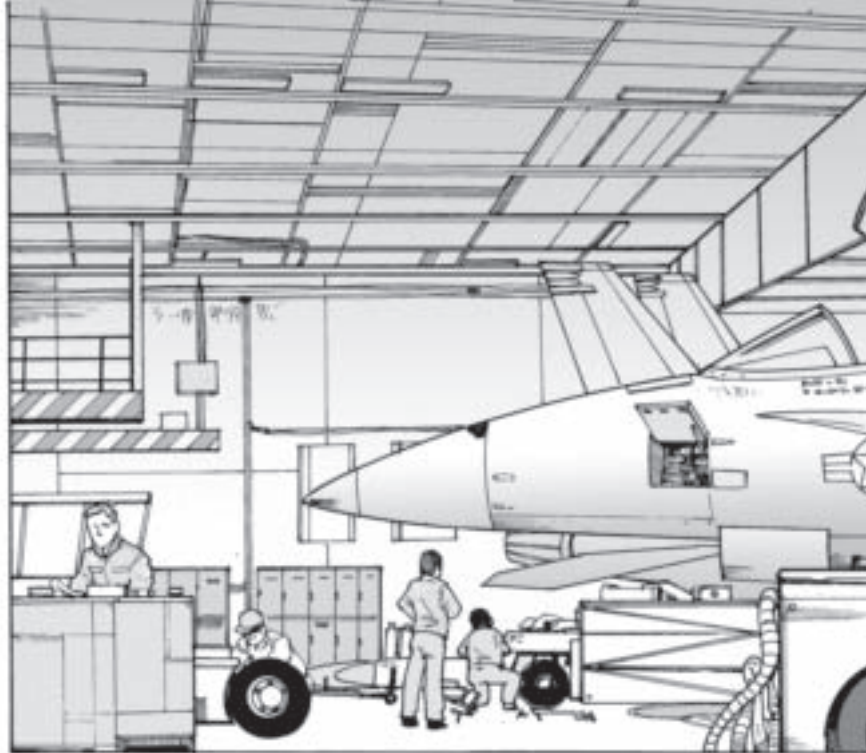












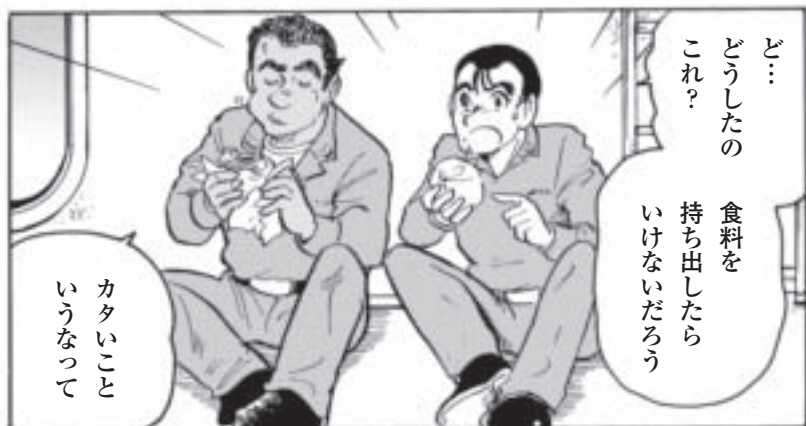






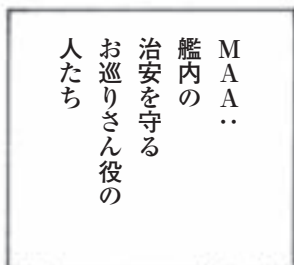




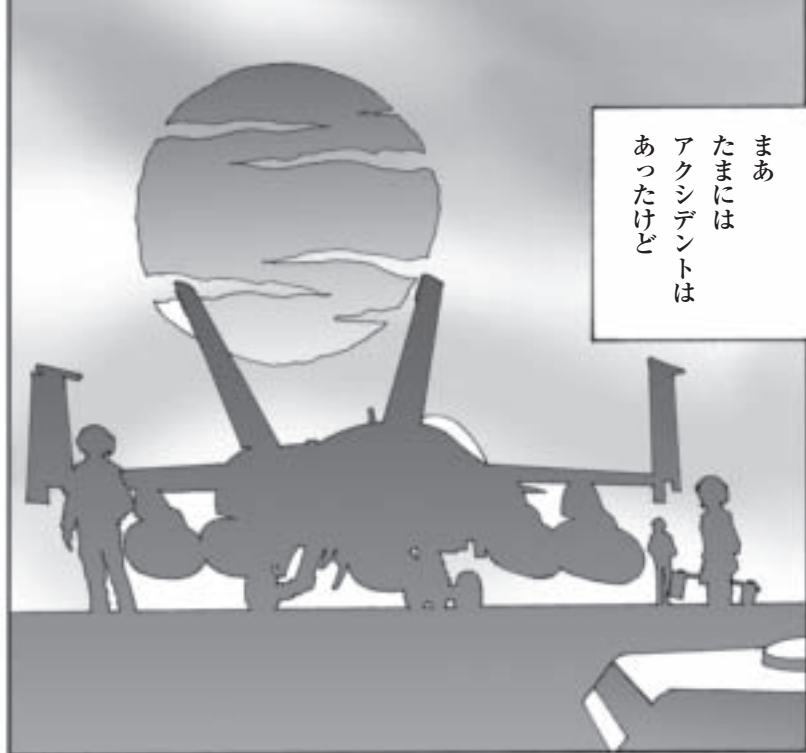








まあ  
たまには  
アクシデントは  
あったけど



いろんな  
作業を  
こなし

いろんな  
体験をし



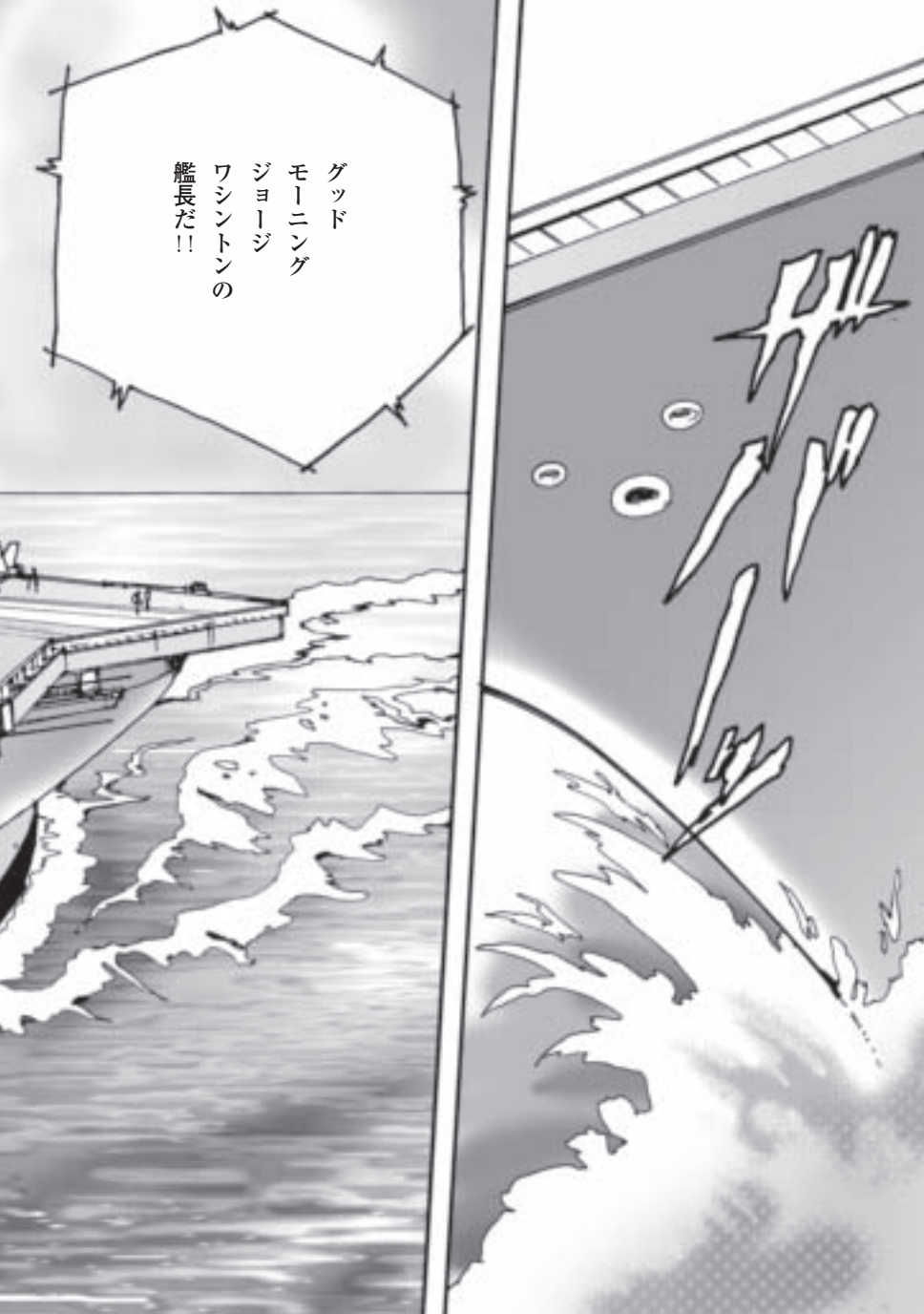
日本について  
法律、言葉、  
習慣などの  
講習会も  
受けて：



いつの間にか  
艦内生活にも  
慣れていった

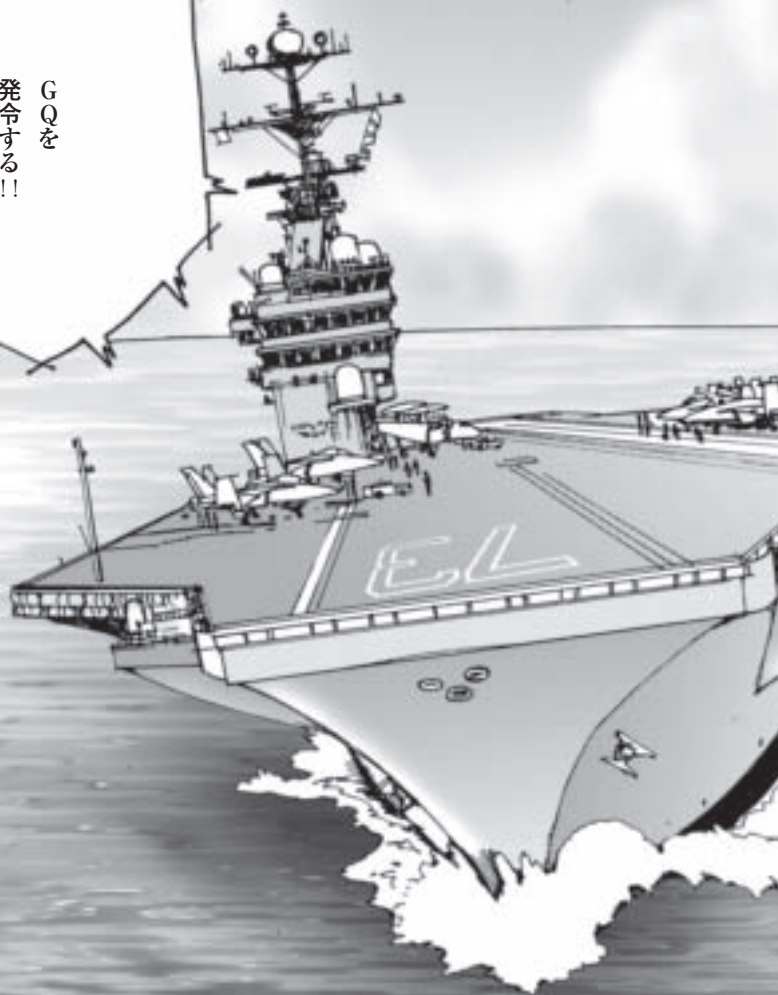


グッド  
モーニング  
ジョージ  
ワシントンの  
艦長だ!!





GQを  
発令する!!





某国  
戦闘機が  
GWへ向け  
多数発進  
した!!



ミサイル  
攻撃の  
可能性が  
ある

全員  
戦闘配置に  
着け!!



これは  
訓練で  
ある!!





GWは  
艦首を  
風上に向けた

最も長い  
GQの  
始まりだった



これが  
この航海で…





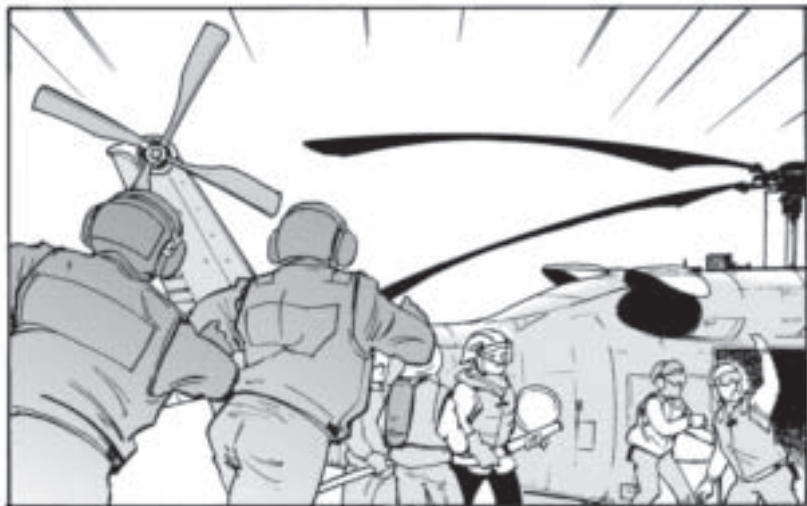


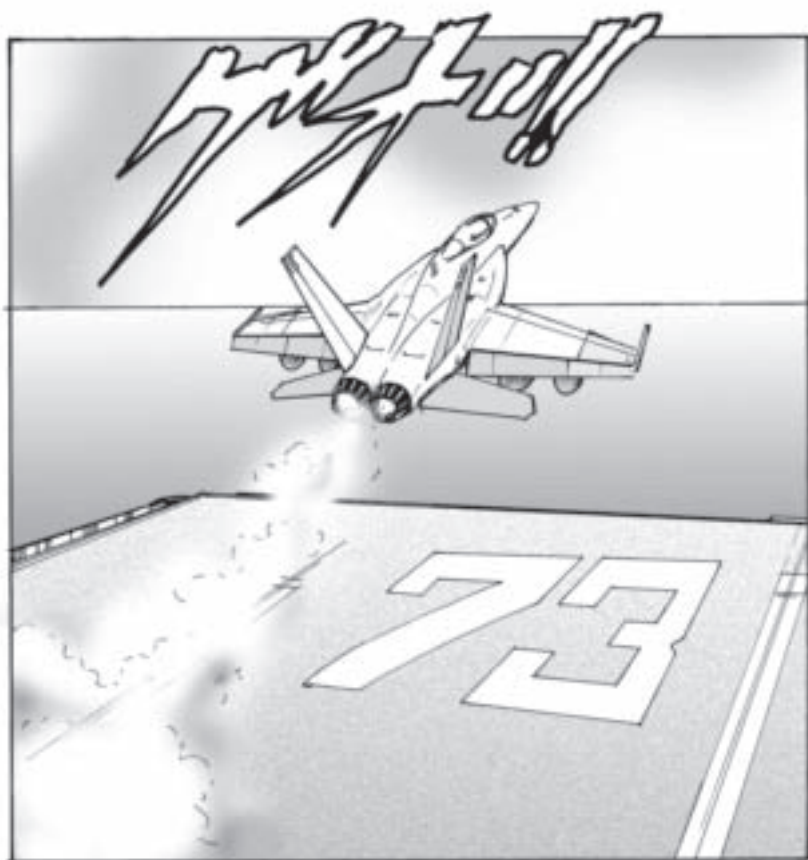
聞いたか  
消火と  
乗員救助  
だ!!



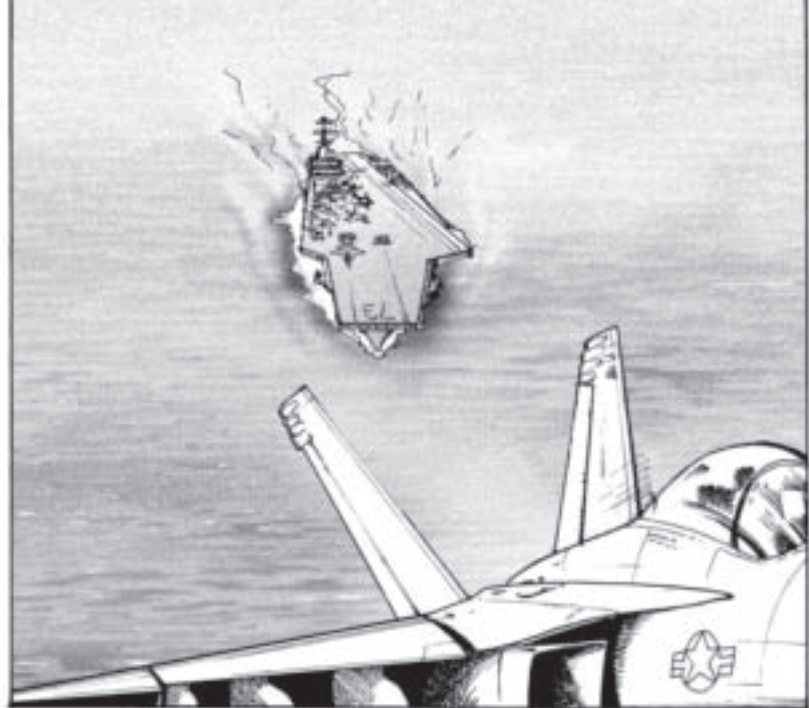
フライトデッキ  
後部左舷に  
ミサイル命中!!  
炎上中

げっ

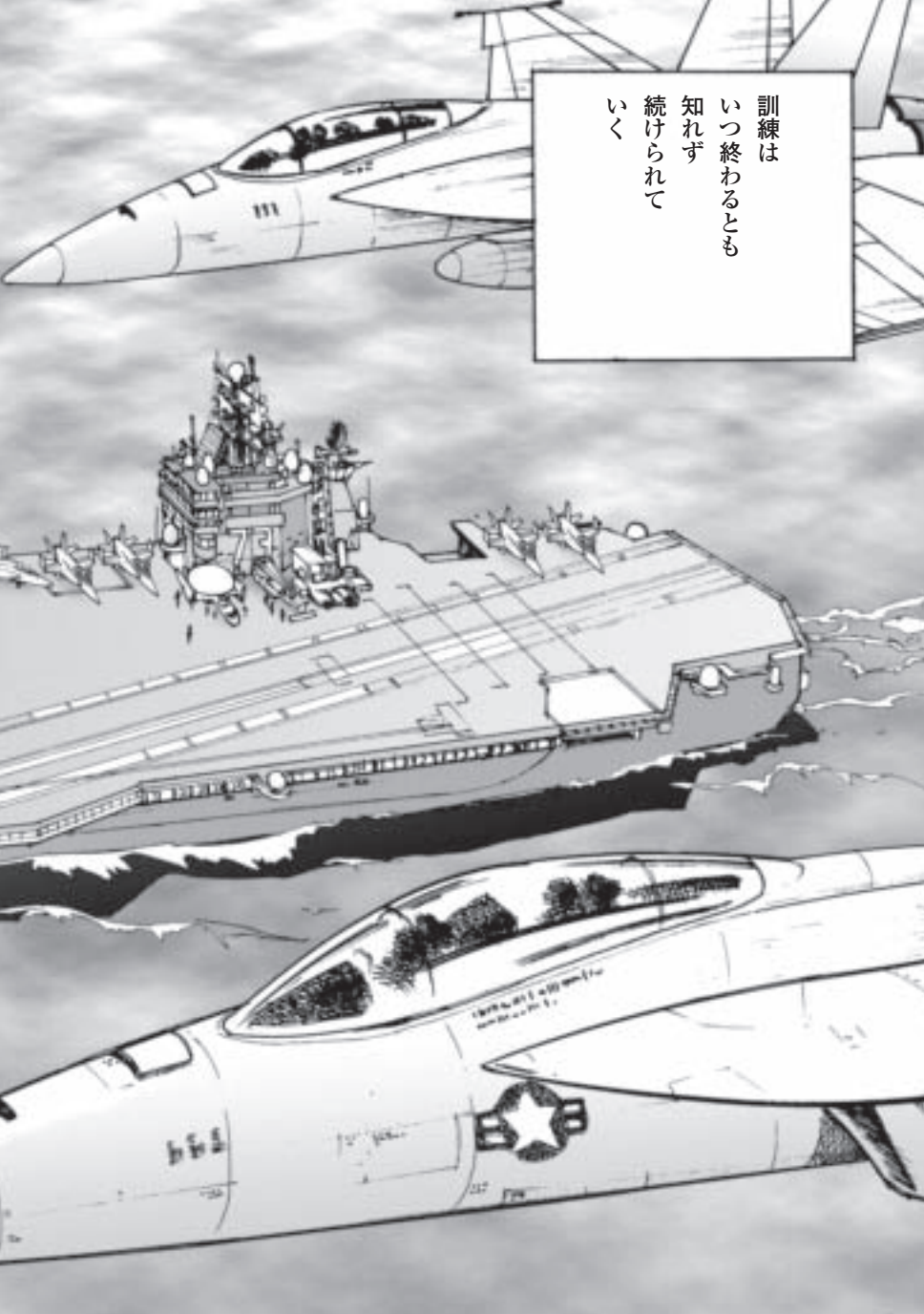






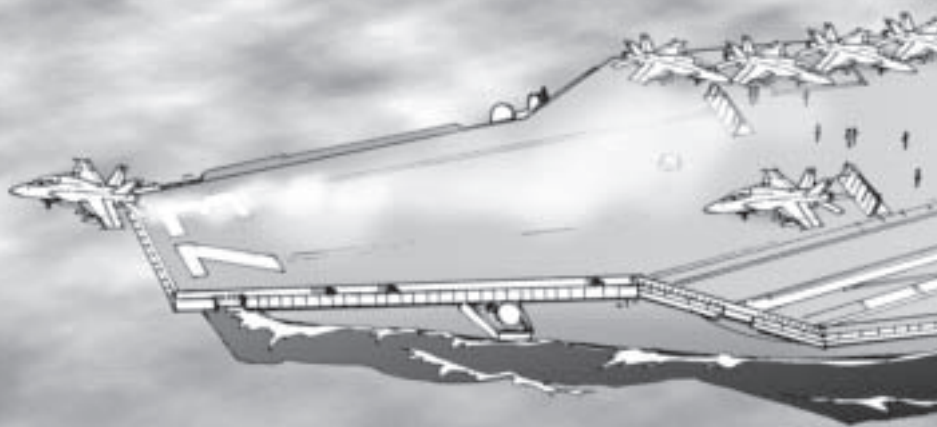


訓練は  
いつ終わるとも  
知れず  
続けられて  
いく



夕日をあびた  
ジョージ  
ワシントンから  
パイロットたちは  
戦闘機を  
発艦させ

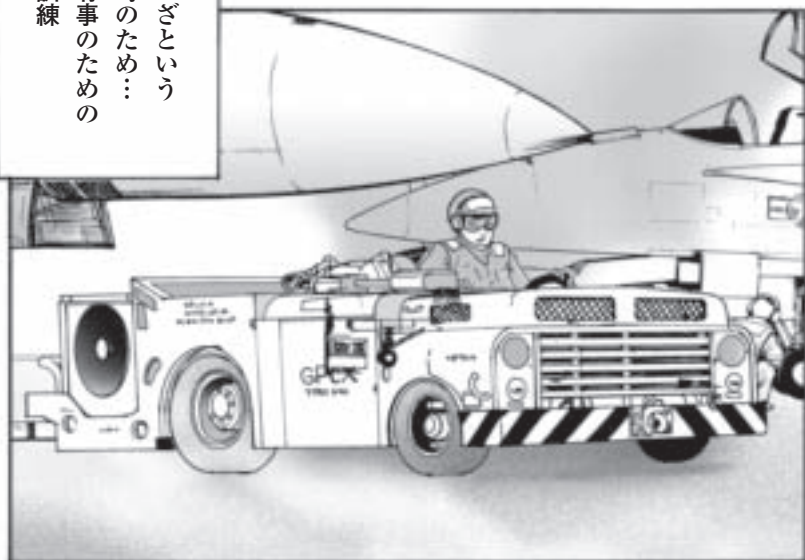
着艦  
させて  
いく――



艦上では  
乗務員たちが  
使命感を持って  
訓練を  
続ける



いざという  
時のため…  
有事のための  
訓練





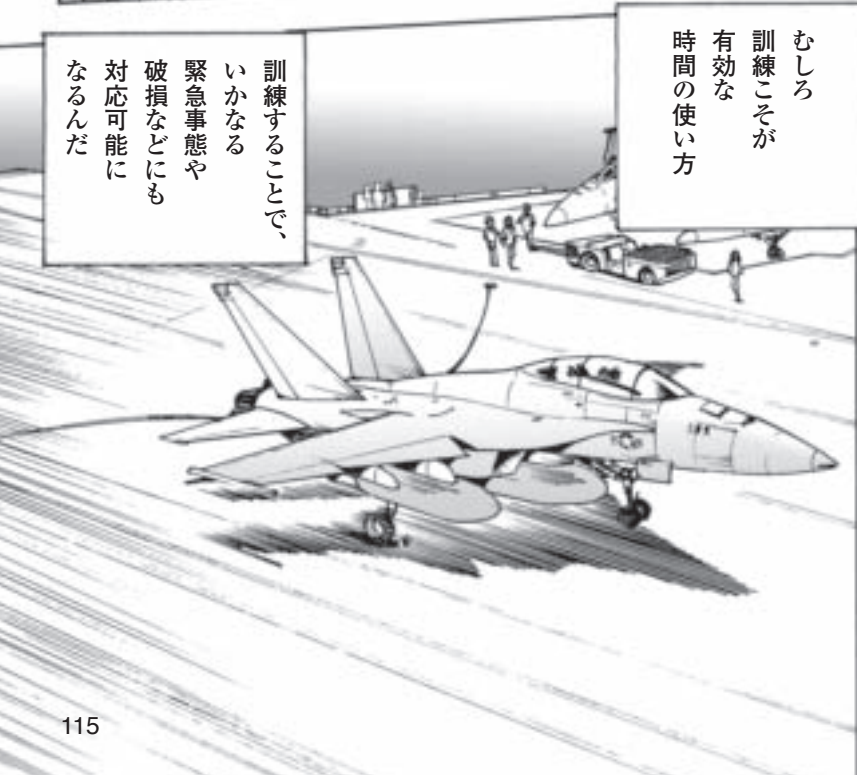
この訓練が  
訓練だけで  
終わっていい

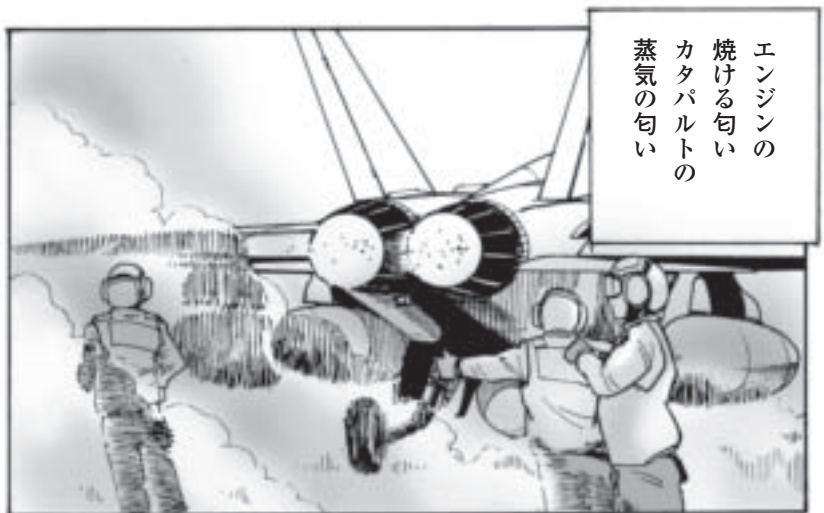
備え  
あれば  
憂いなし

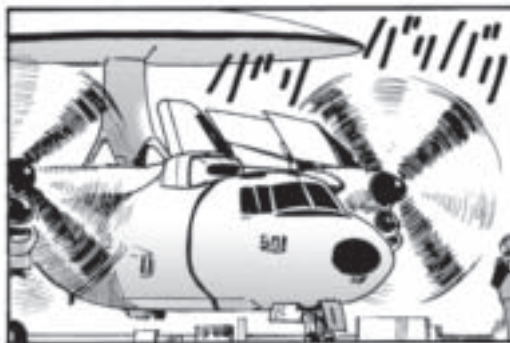


むしろ  
訓練こそが  
有効な  
時間の使い方

訓練することで、  
いかなる  
緊急事態や  
破損などにも  
対応可能に  
なるんだ





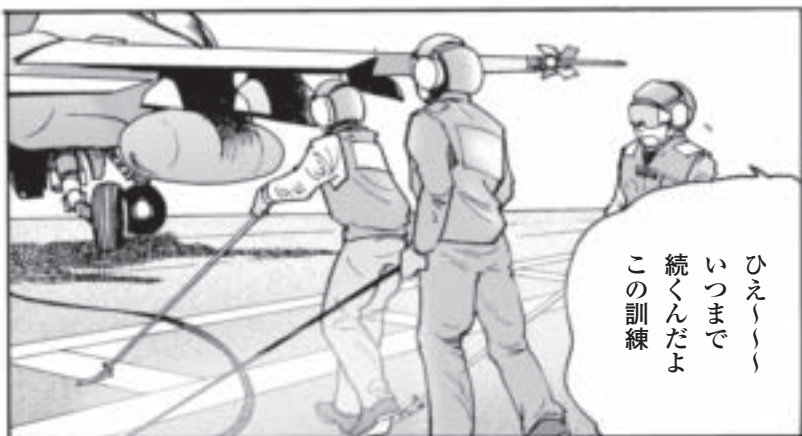


ジェット機・  
プロペラ機の  
爆音  
金属が  
ぶつかり合う  
騒音

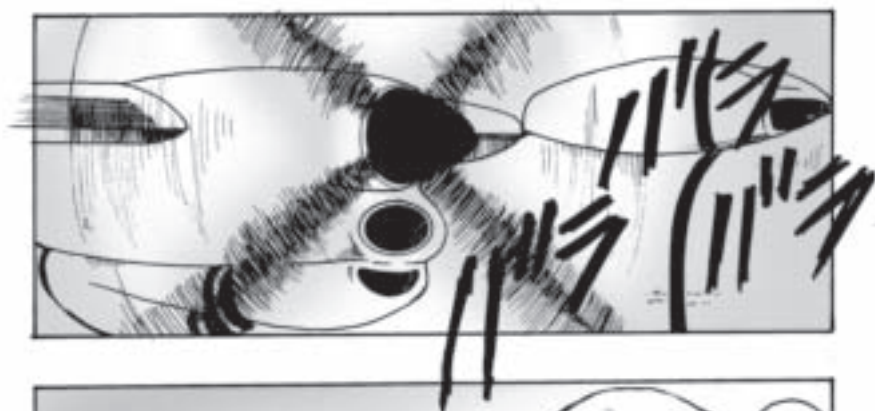
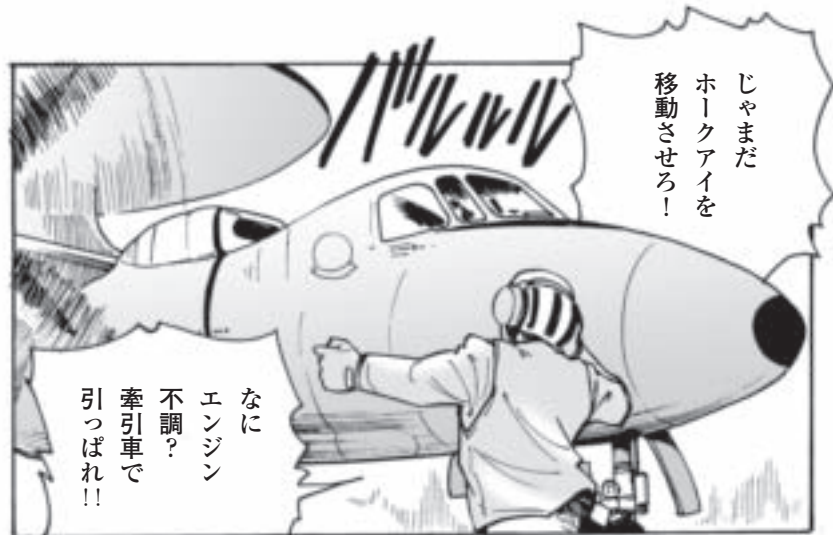


その中で  
何時間も  
作業をすれば  
感覚はマヒ  
していき…

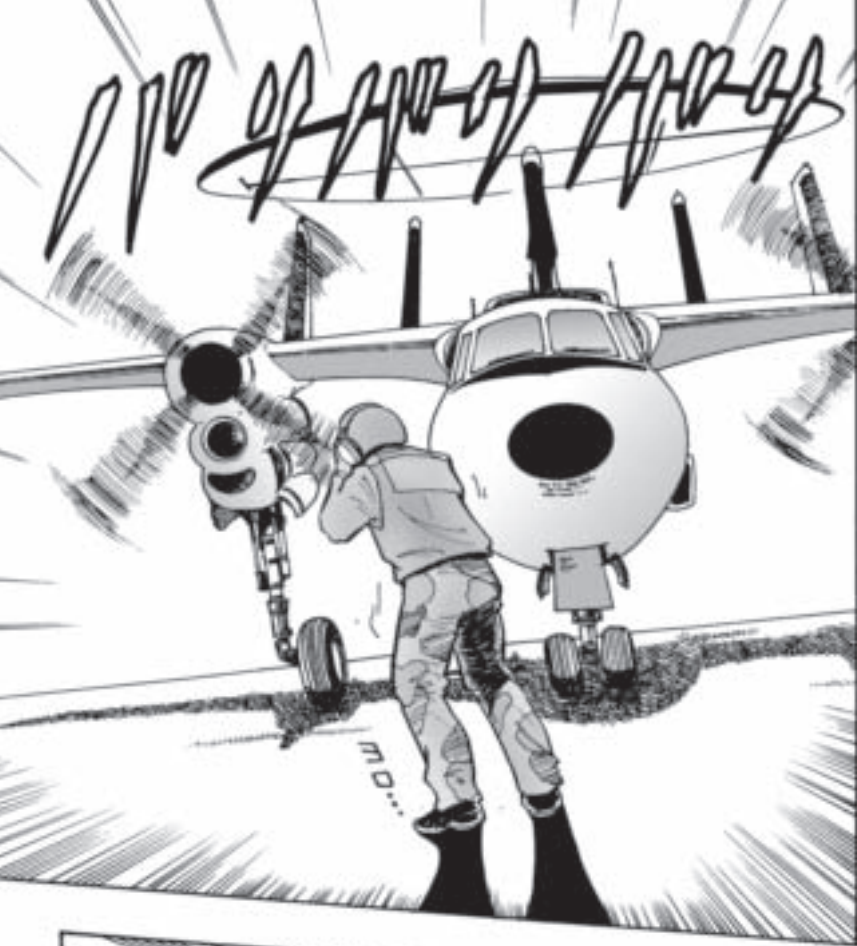
そして  
疲労が  
追いつきを  
かける

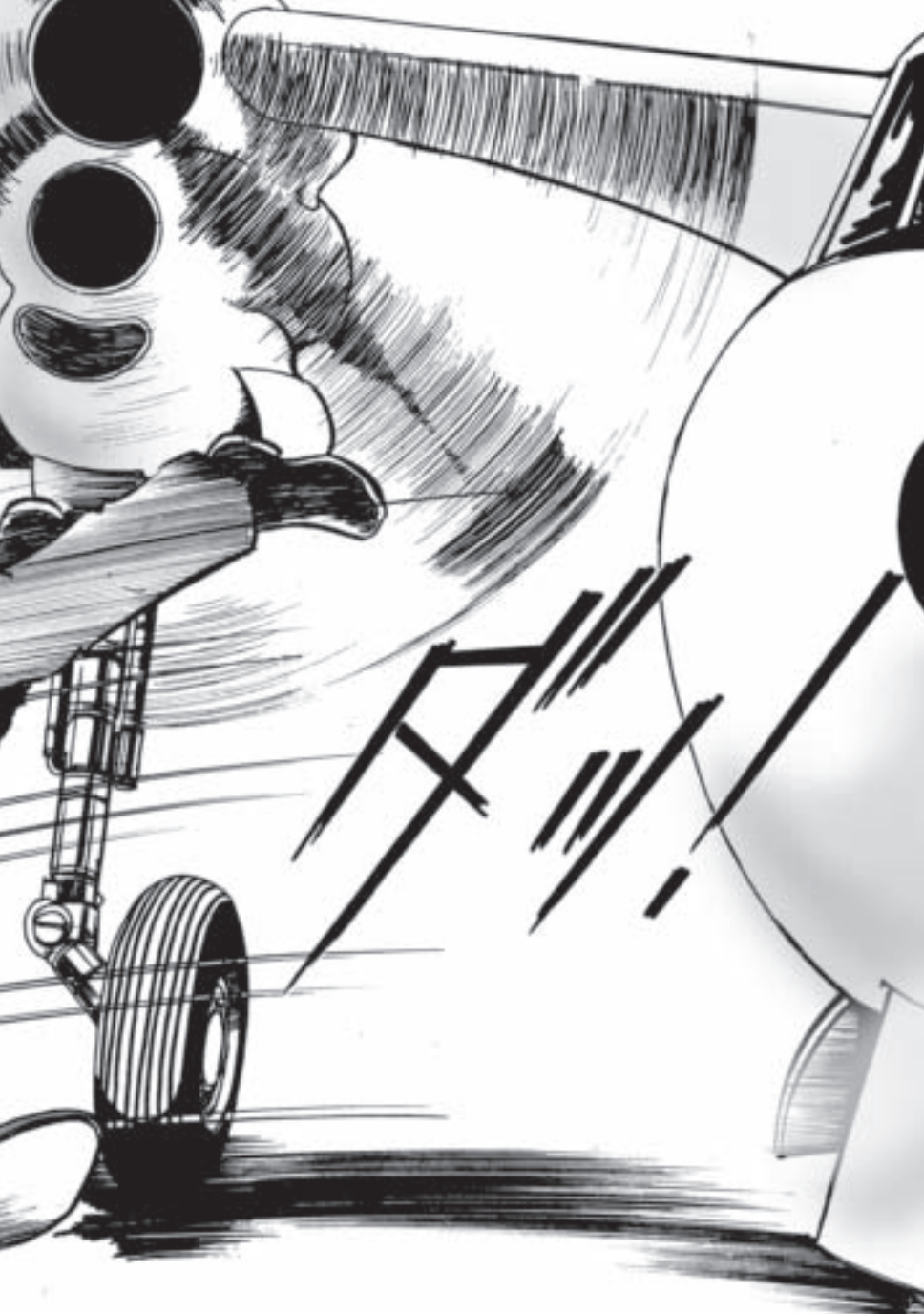


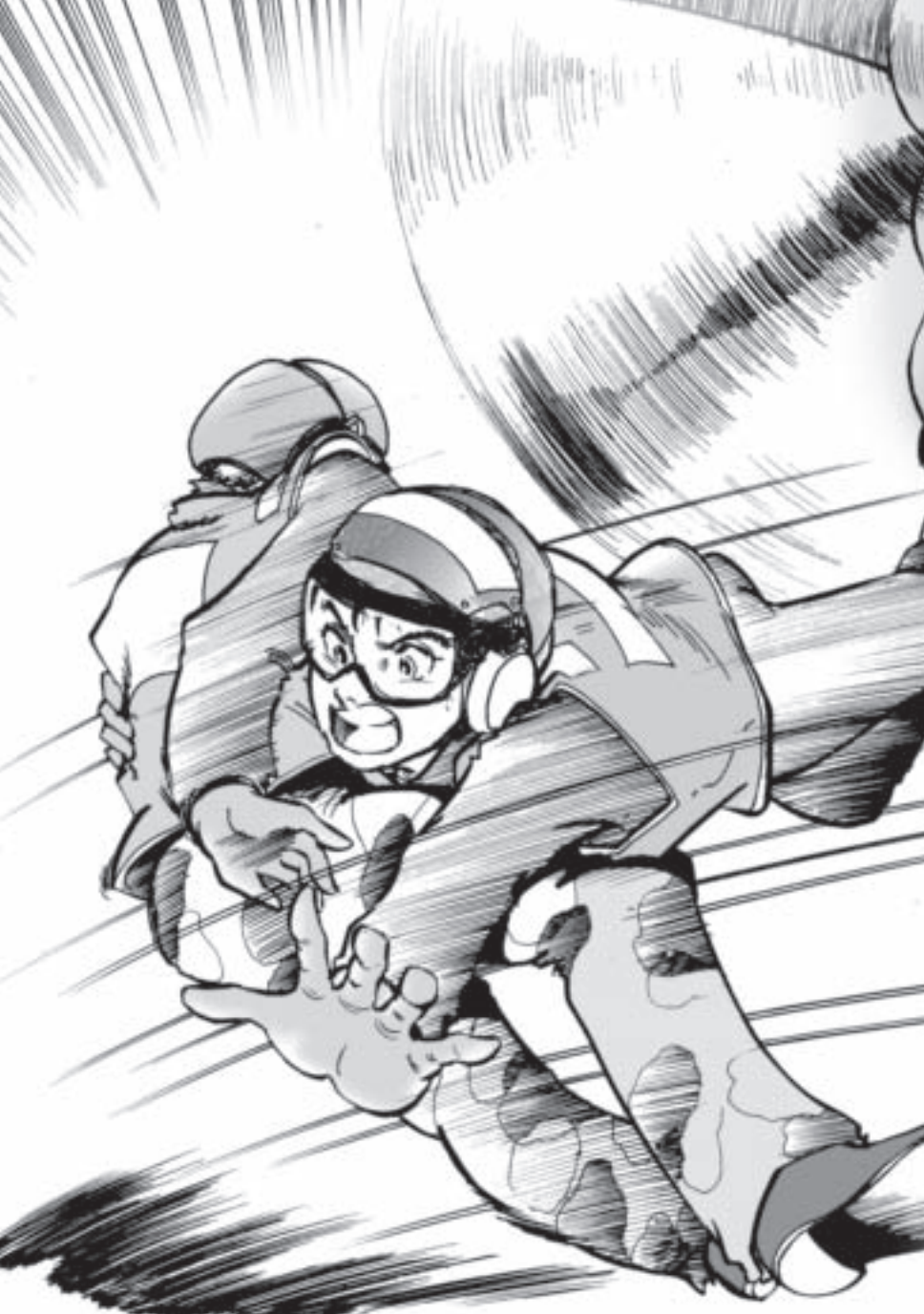
ひえ〜  
いつまで  
続くんだよ  
この訓練







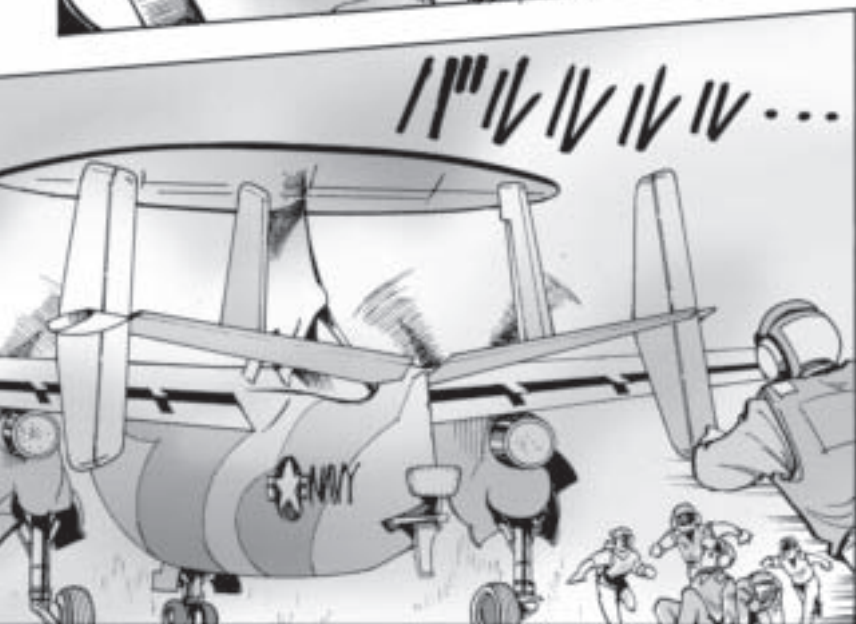












巻き込ま  
れたら  
ミンチだぞ!!

ばかやろう  
死ぬ気か!!

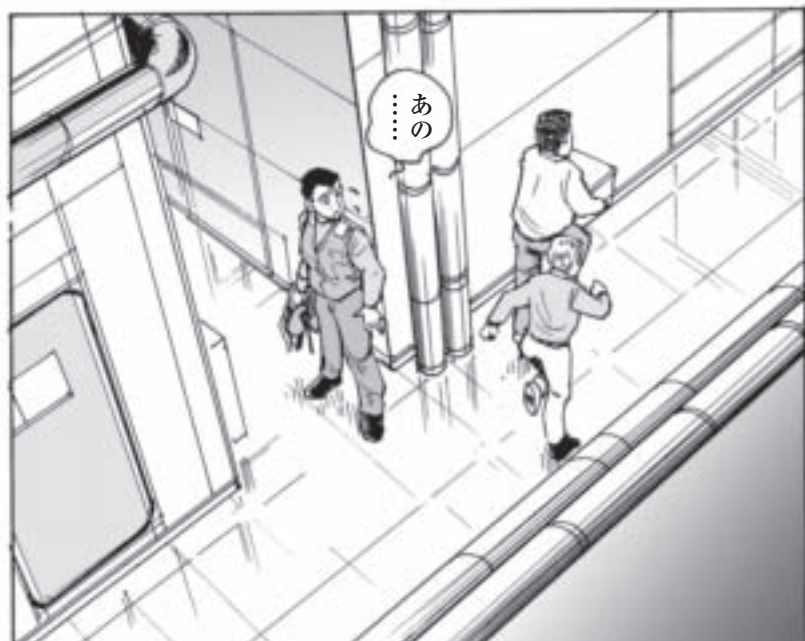


人手がたらん  
その2人  
つれて  
格納庫に  
行け

はい

ジェット機  
プロペラ機が  
発艦し  
数百人の  
作業員が  
うごめく艦

訓練といえども  
少しでも  
気を抜けば  
何が起るか  
わからない





空母での  
生活に  
慣れてきて  
初めて  
わかったことが  
ある



ぼくは  
生まれつき  
方向が  
わかりづら  
かったらしい



この  
けむり  
……？



？







これは  
訓練では  
ない!!



艦内の  
ランドリーで  
A級の火災が  
発生!!



ここだ!!  
ランドリー  
だ!!

これは  
訓練では  
ない!!



よし  
行くぞ  
!!













ジャック……  
おまえ……

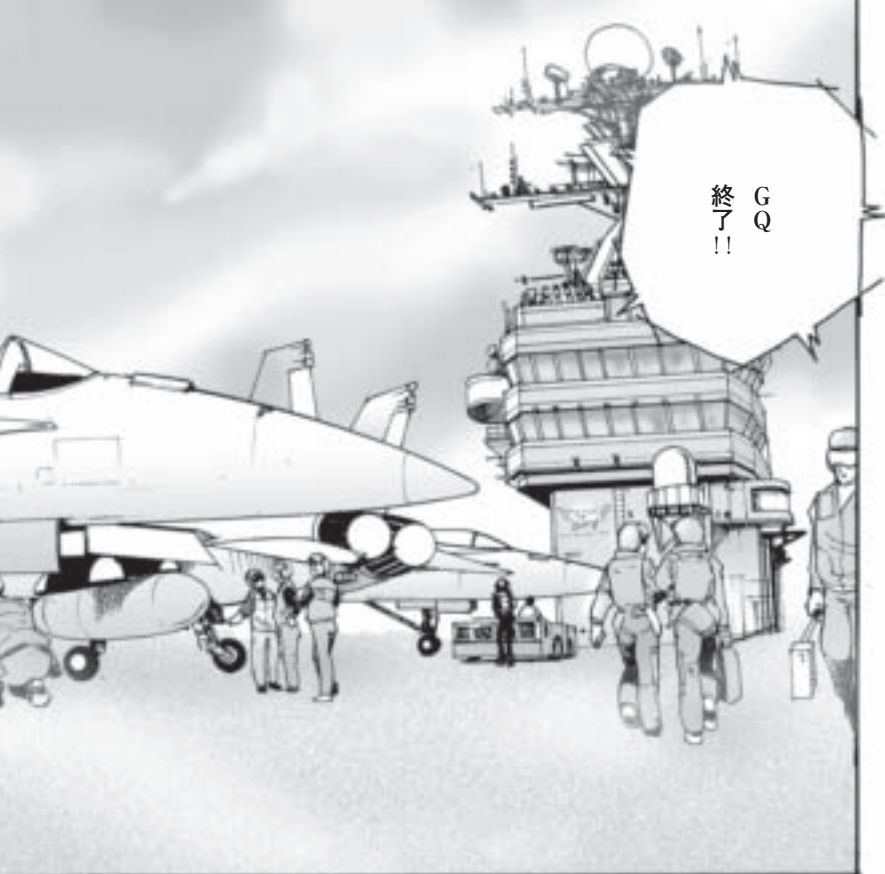


よく  
やった!!

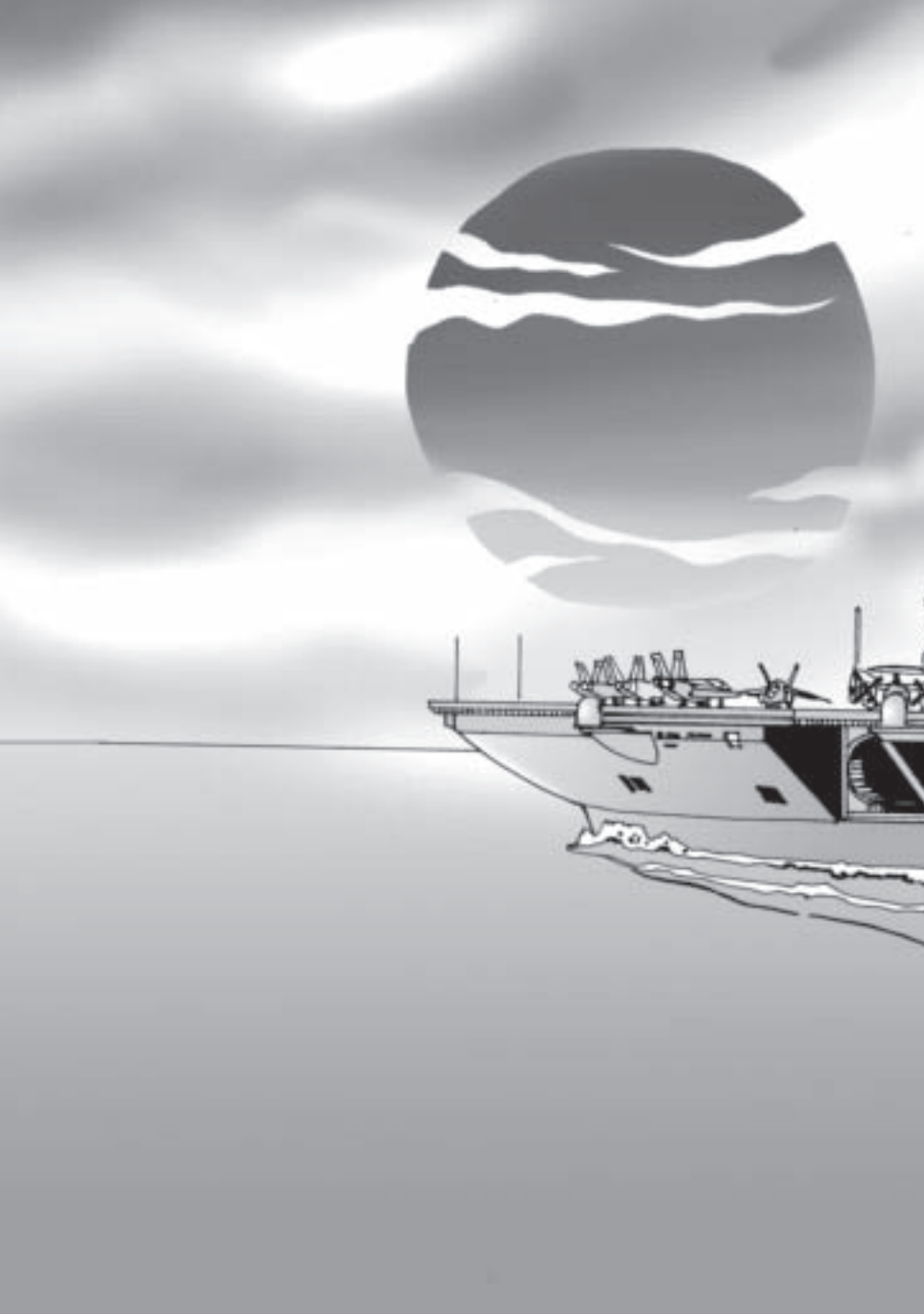


原因は  
乾燥機の  
オーバー  
ヒートだった



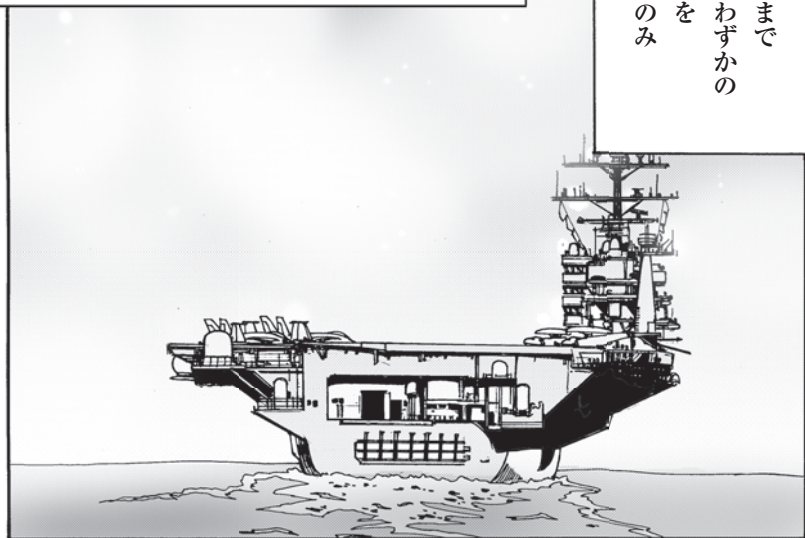






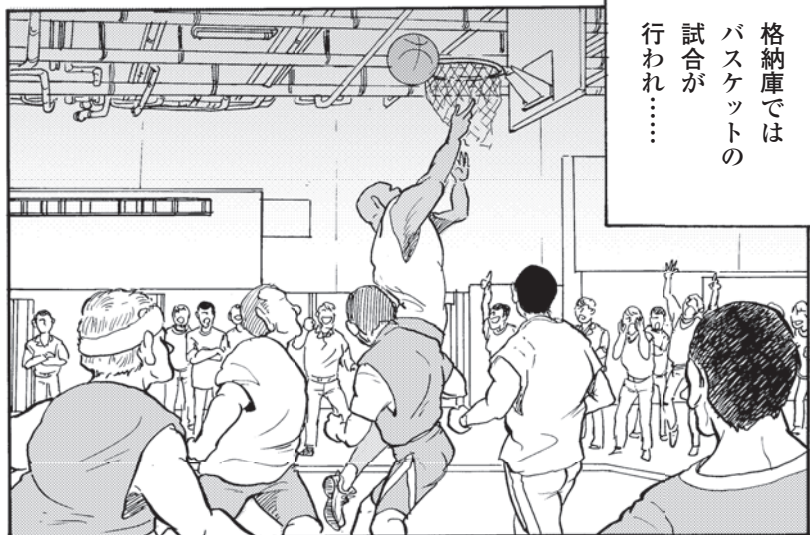
数週間後…

日本まで  
あとわずかの  
航海を  
残すのみ

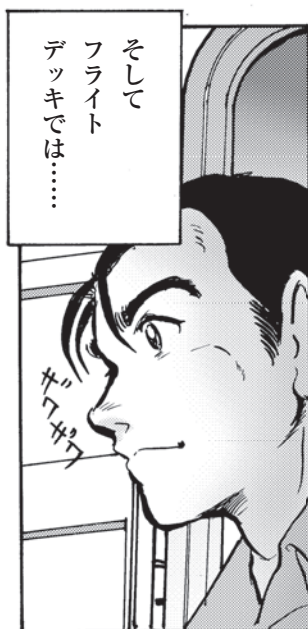


朝起きると  
艦内の空気が  
変わっていた





格納庫では  
バスケットの  
試合が  
行われ……



そして  
フライト  
デッキでは……

カウガウ



ラップの  
リズムが  
響いていた



今日は  
スチールビーチ  
ピクニックの日



要するに  
フライトデッキを  
ビーチに見立てて  
ピクニックを  
行うのだ









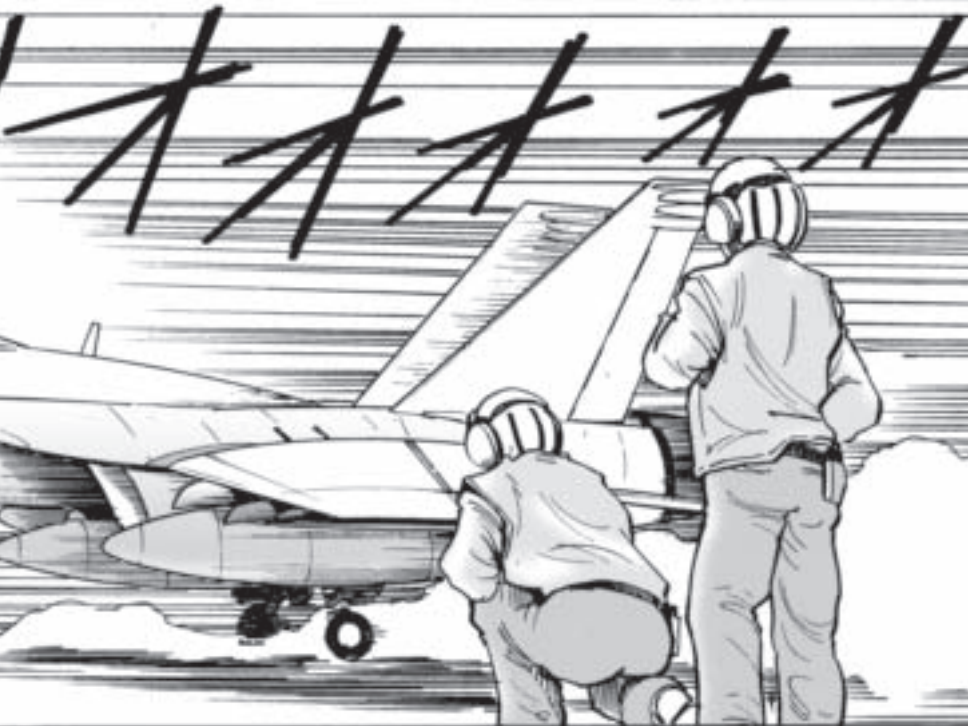


残りの航海では  
特に何ごともなく

日本についての  
講習も  
最後の  
仕上げに入った

荷造りを  
終え

日本上陸の  
準備が  
整ったとき



空母航空団は  
一足先に  
厚木基地へと  
飛び立って  
いく





フィッシュ





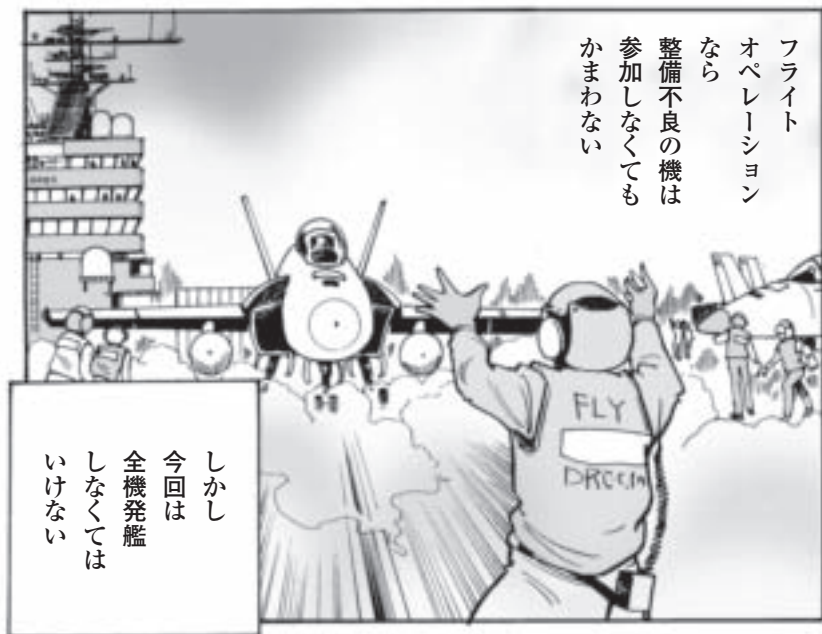
5分で  
直せ

5分後に  
飛べなくても  
カタパルトで  
射出するぞ!!



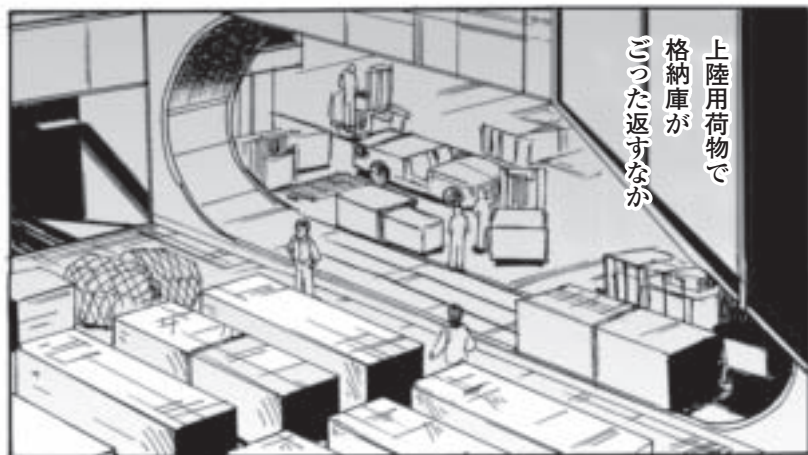
どうした  
まだ  
飛べない  
のか?

あと10分  
待って  
ください

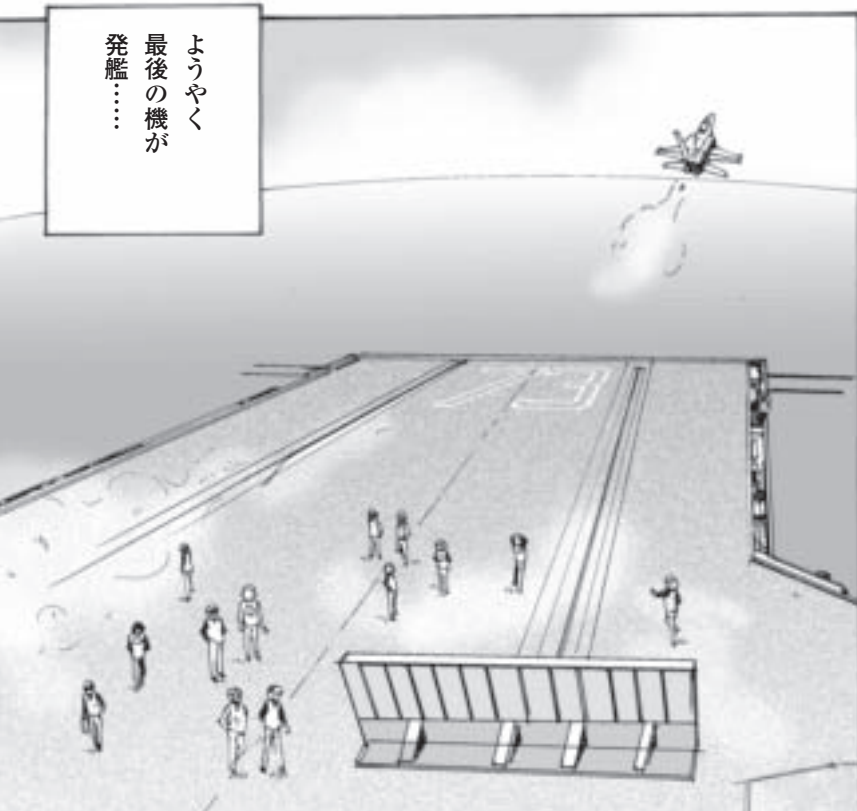


フライト  
オペレーション  
なら  
整備不良の機は  
参加しなくても  
かまわない

しかし  
今回は  
全機発艦  
しなくては  
いけない

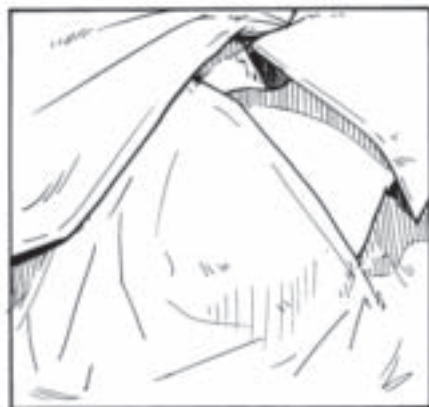
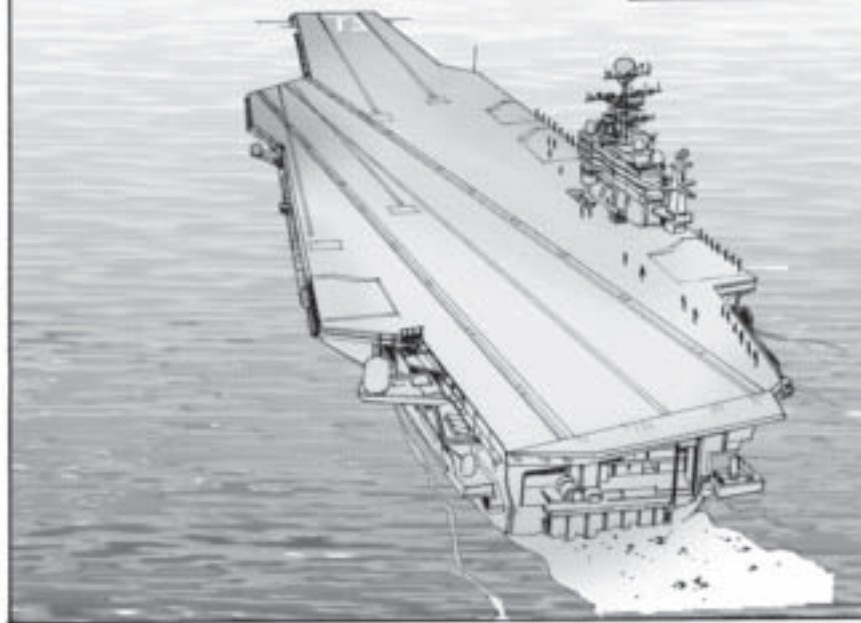


上陸用荷物で  
格納庫が  
ごった返すなか



ようやく  
最後の機が  
発艦……

そして  
日本が  
見えた







ジャック  
準備は  
できた？

はい



？



...



まあ……

いい顔  
だわ  
どうやら  
吹っ切れた  
ようね

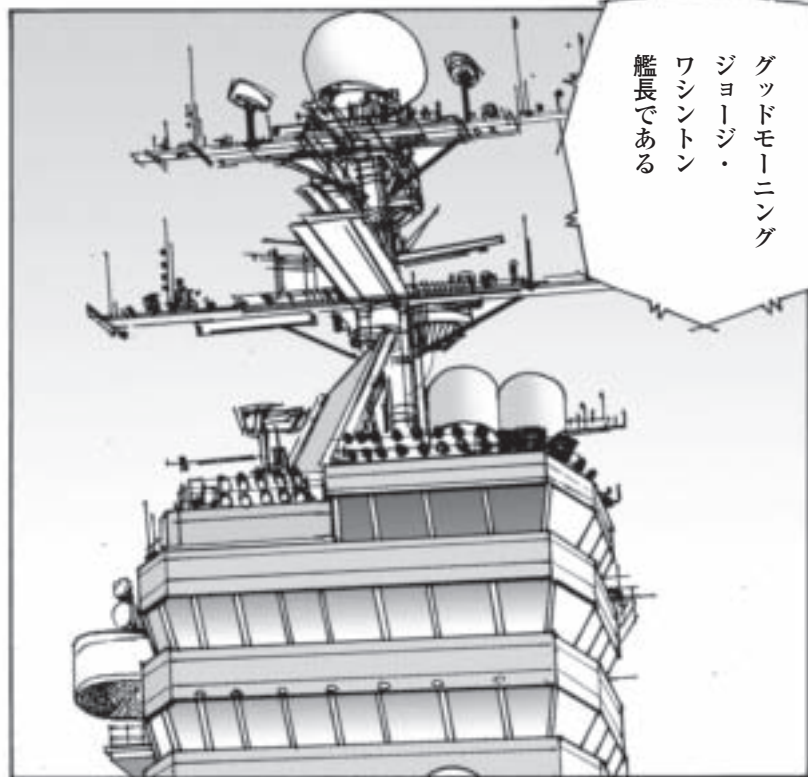







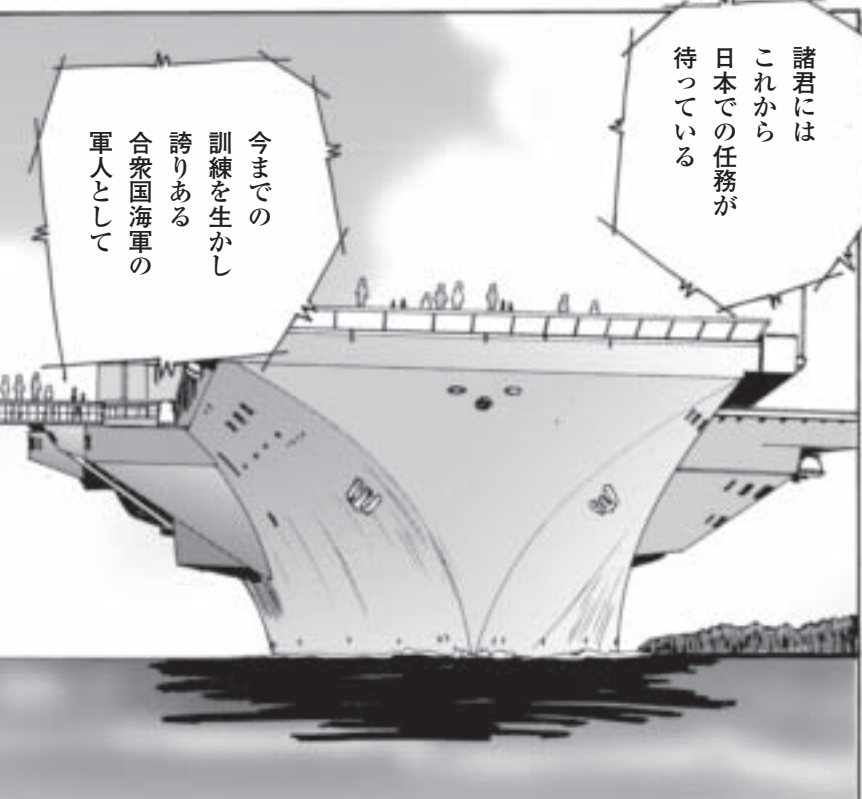








我々はこれより  
アメリカ国外では  
最大級の  
海軍基地である横須賀  
に入港する

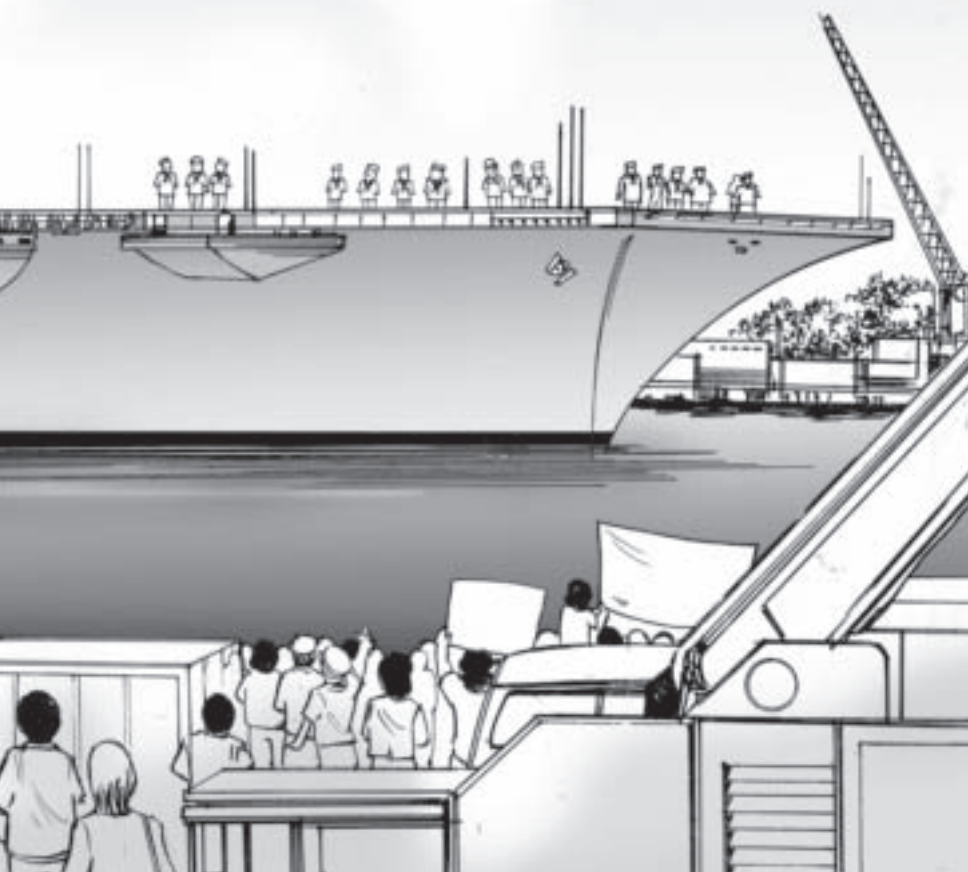


諸君には  
これから  
日本での任務が  
待っている

今までの  
訓練を生かし  
誇りある  
合衆国海軍の  
軍人として

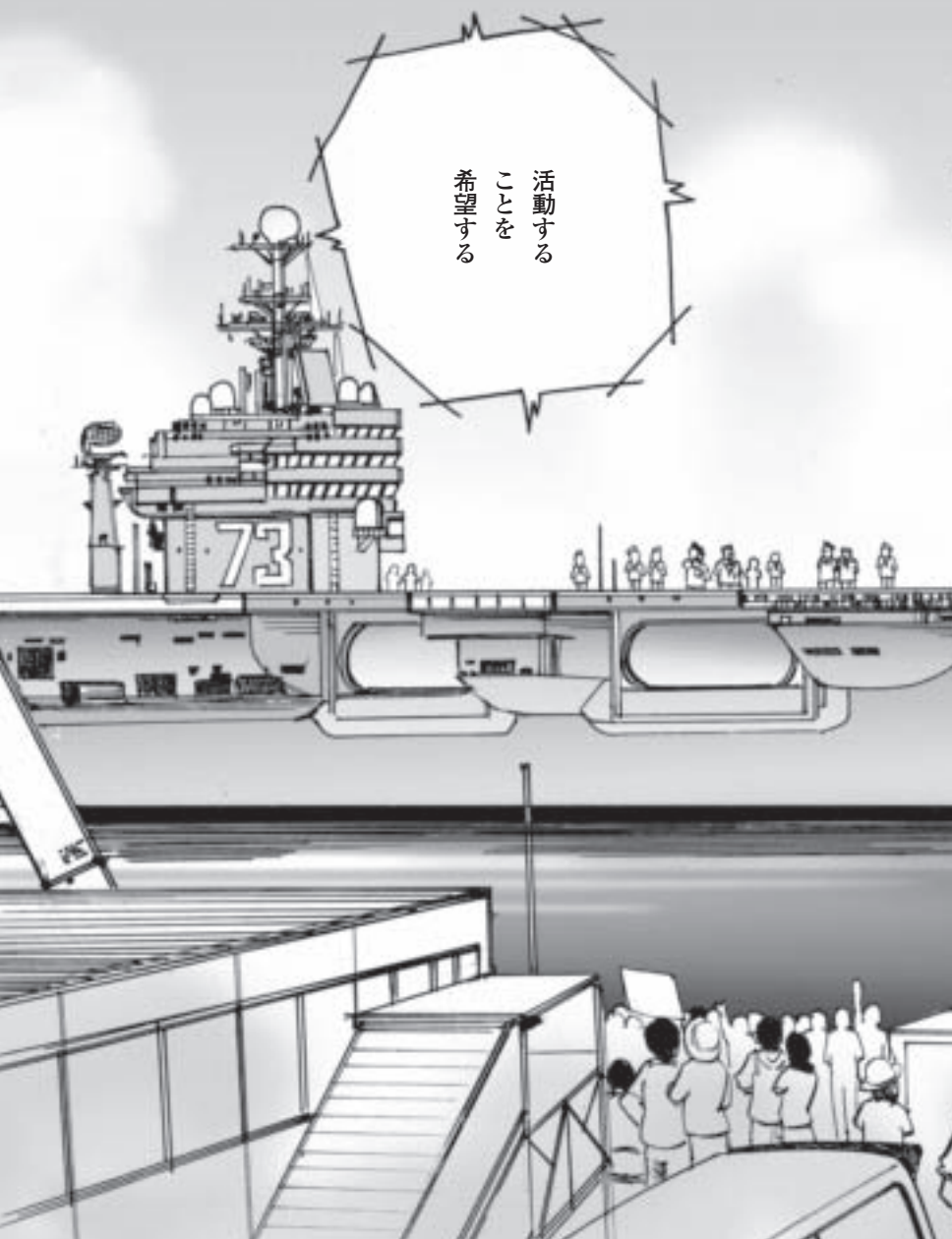
一人一人が  
親善大使と  
して

そして  
よき  
隣人として





活動する  
ことを  
希望する



そして  
ジョージ・  
ワシントンは  
横須賀へ  
入港した







空母に乗艦  
してる間は  
24時間勤務

基地に着いて  
初めての休暇が  
楽しみなのは  
誰でも同じ



観光に  
行く者



買い物に  
行く者



エリーベントンは  
来日したご主人と  
富士山に  
行ったらしい



そして  
ぼくは…

三笠公園



横須賀中央駅







ぼくは  
遊びに  
来たんじゃ  
ない

あなた  
日本は初めてでしょ  
少しは空気に  
なじんでからの  
ほうがいいわよ

ここは  
いい所だぞオ  
「テラ」がいつぱいだ  
緑がいつぱいだ

















ああ どう思おうと  
ぼくには  
日本人の血が  
しっかりと  
流れているんだ…



…  
か  
日本の方

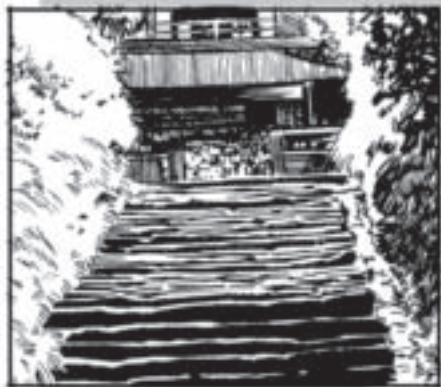




心から笑えた  
家族で笑い合うように







たくさんの  
寺を見て歩いた



意味などは  
わからないけれど



祖父母が住む  
この街がとても  
こころよく  
感じられた



それは  
彼らがいてくれて  
その心遣いを  
感じていたから  
だと思う

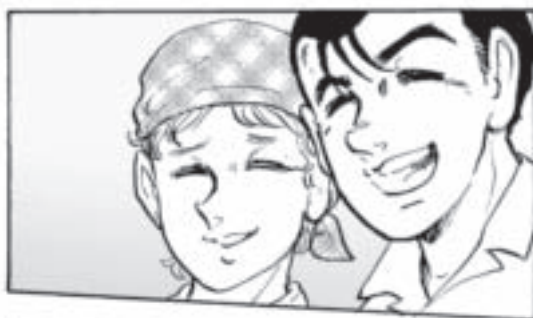
ありがとう……

さア  
ここは  
すごい  
インパクトだぜ

おーッ









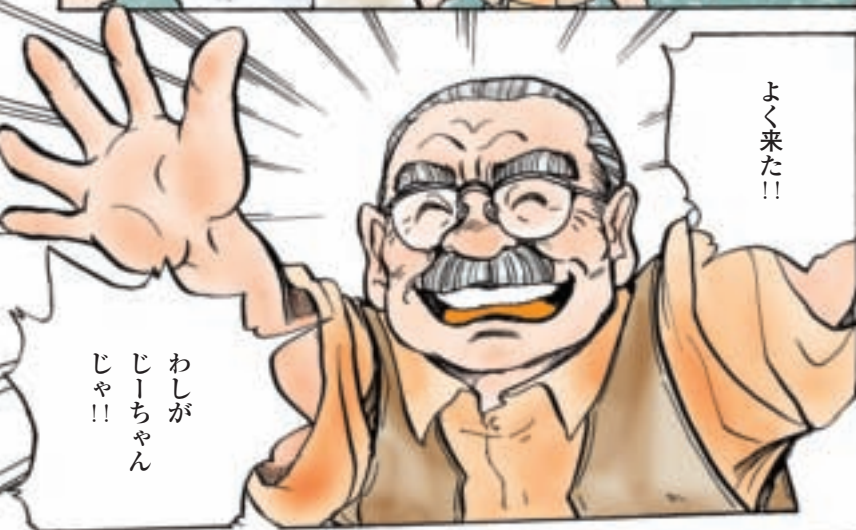






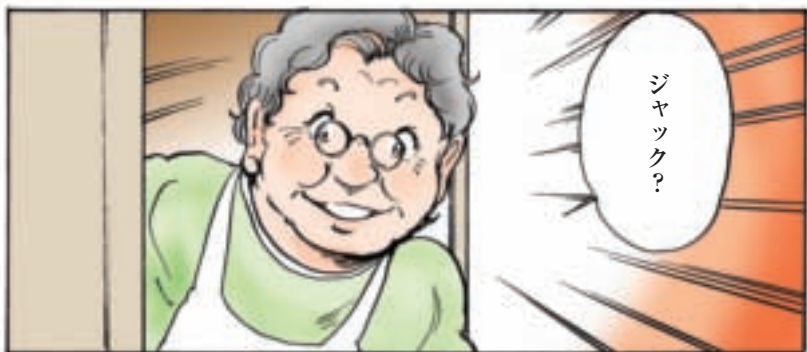




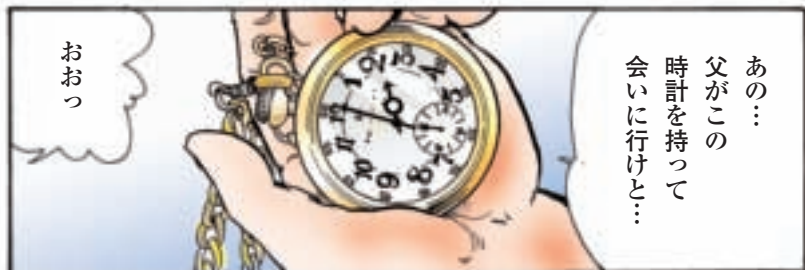




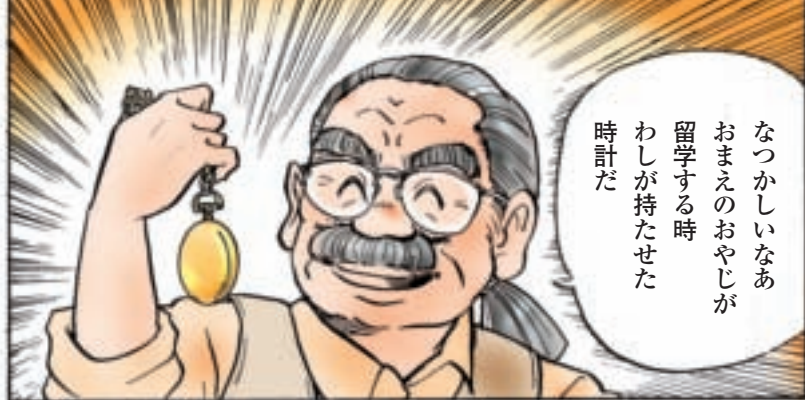




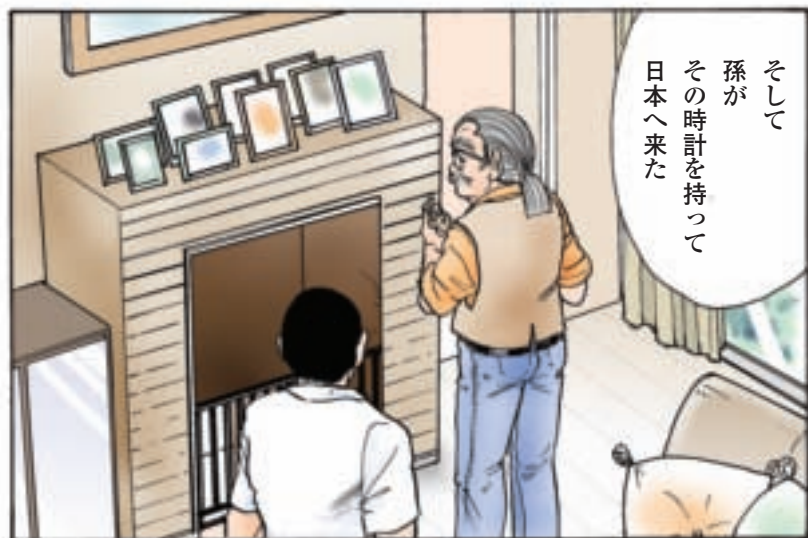
























まさか  
鎌倉に来てまで  
スチールビーツ  
ピクニックが  
あるとは…



でも…



でも…



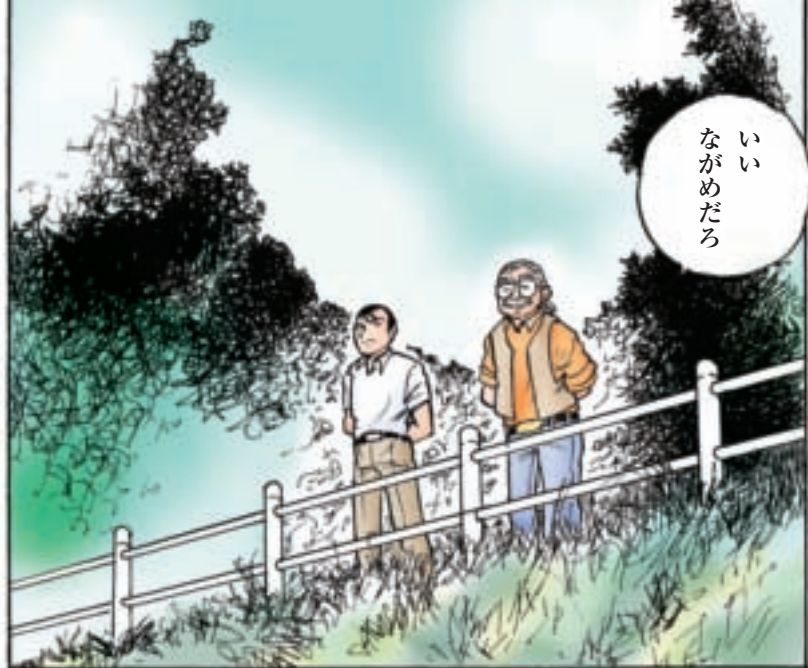
ここにも  
多くの家族が  
いたんだ――



はー  
腹いっぱい  
だ













## 空母 ジョージ・ワシントン (CVN 73) の紹介

造	船	所	ニューポート・ニュース造船所
就		役	1992年7月4日
建	造	費	約4,500億ドル
主		機	原子炉2基, 4軸
全		長	332.85メートル (1,092フィート)
	幅		40.84メートル (134フィート)
飛	行	甲板幅	76.8メートル (252フィート)
速		力	30ノット以上 (時速34.5マイル以上)
乗		員	3,200名 (空母要員) 2,480名 (航空要員)
兵		装	シースパロー発射機3基, 20ミリCIWS4基
搭載可能航空機数			85機

空母ジョージ・ワシントンはアメリカ海軍ニミッツ級航空母艦の6番艦。艦名の「ジョージ・ワシントン」はアメリカ合衆国初代大統領の名前を付けています。

## マンガ 空母 ジョージ・ワシントン

---

発行日 2008年4月  
著者 佐藤晴美・かづさひろし  
発行 在日米海軍司令部

印刷・製本 大阪書籍株式会社



在日米海軍司令部